

第5次播磨町総合計画策定に 関する住民意識調査 結果概要

令和元年（2019年）10月

播磨町

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と実施方法	1
3. 配布と回収状況	1
4. 調査結果の見方	2
II 住民アンケート結果	3
1. 回答者自身のことについて	3
2. 今後の定住意向について	4
3. 町の主な施策の満足度・重要度について	8
4. 結婚・子育て・出産について	11
5. 高齢化対策について	13
6. 防災対策について	14
7. 住民協働のまちづくりについて	15
8. まちのイメージについて	21
III 中学生アンケート調査	22
1. 播磨町について	22
2. これからの播磨町について	25
IV 事業所アンケート調査	27
1. 貴事業所について	27
2. 雇用について	29
3. 播磨町の事業環境、都市機能整備の評価について	30
4. ワーク・ライフ・バランスについて	32
5. 人材確保について	33

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、新たなまちづくりの指針となる「第5次播磨町総合計画」の策定及び喫緊の課題である人口減少をはじめとした様々な課題の解決に向けて、皆様のご意見やお考えを把握するためお聞かせいただき、計画へ反映させることを目的に実施しました。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象 (抽出方法)	調査期間	実施方法
住民アンケート	18歳以上の住民 (無作為抽出)	令和元年 8月1日～8月23日	郵送による 配布・回収
中学生アンケート	町内中学校 2年生の 生徒(全数)	令和元年 6月28日～7月19日	学校での 配布・回収
事業所アンケート	町内の事業所	令和元年 8月1日～8月20日	郵送による 配布・回収

3. 配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

		配布数	回収数	回収率
住民アンケート	今回	3,000票	1,165票	38.8%
	【参考】平成27年	4,000票	1,112票	27.8%
中学生アンケート		273票	256票	93.7%
事業所アンケート		100票	52票	52.0%

4. 調査結果の見方

- ◇ 設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

SA＝単数回答：「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA＝複数回答：「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

FA＝文字記述回答

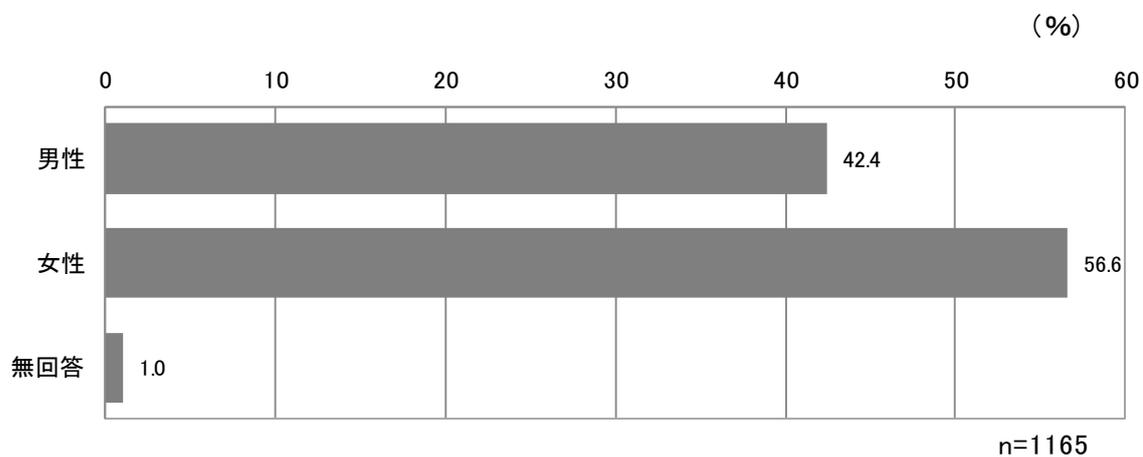
NA＝数量回答：日数や時間、回数などの数値・数量を記入してもらう質問形態

- ◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇ グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇ 各比率は、小数点第1位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇ 前回調査は、平成27年（2015年）に行われたもので、今回調査と比較する際に使用しています。なお、前回調査の集計には、無回答が含まれていません。

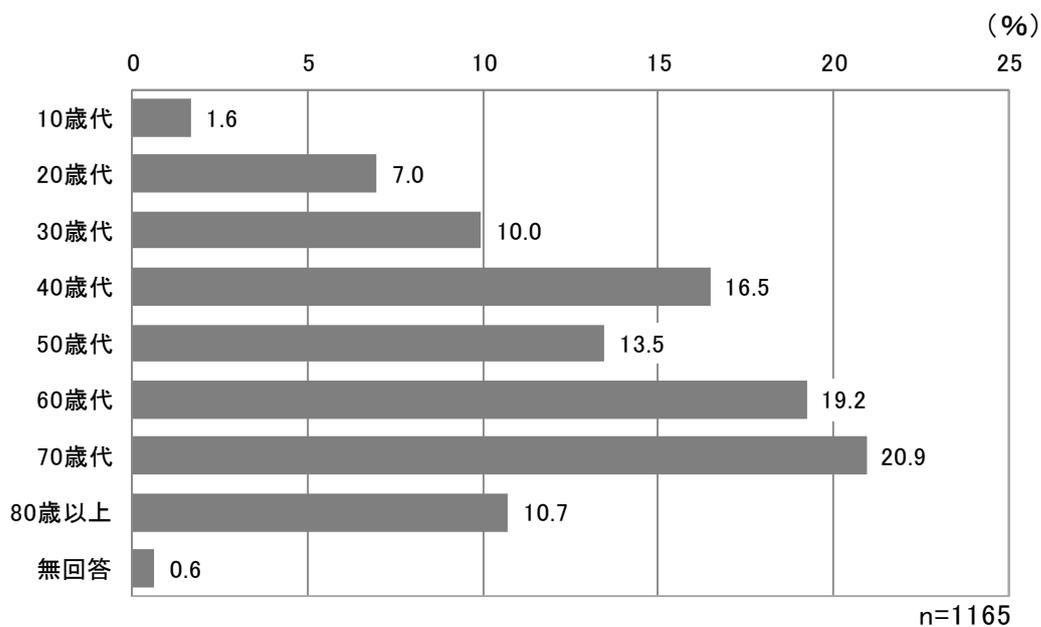
II 住民アンケート結果

1. 回答者自身のことについて

1 性別（SA）



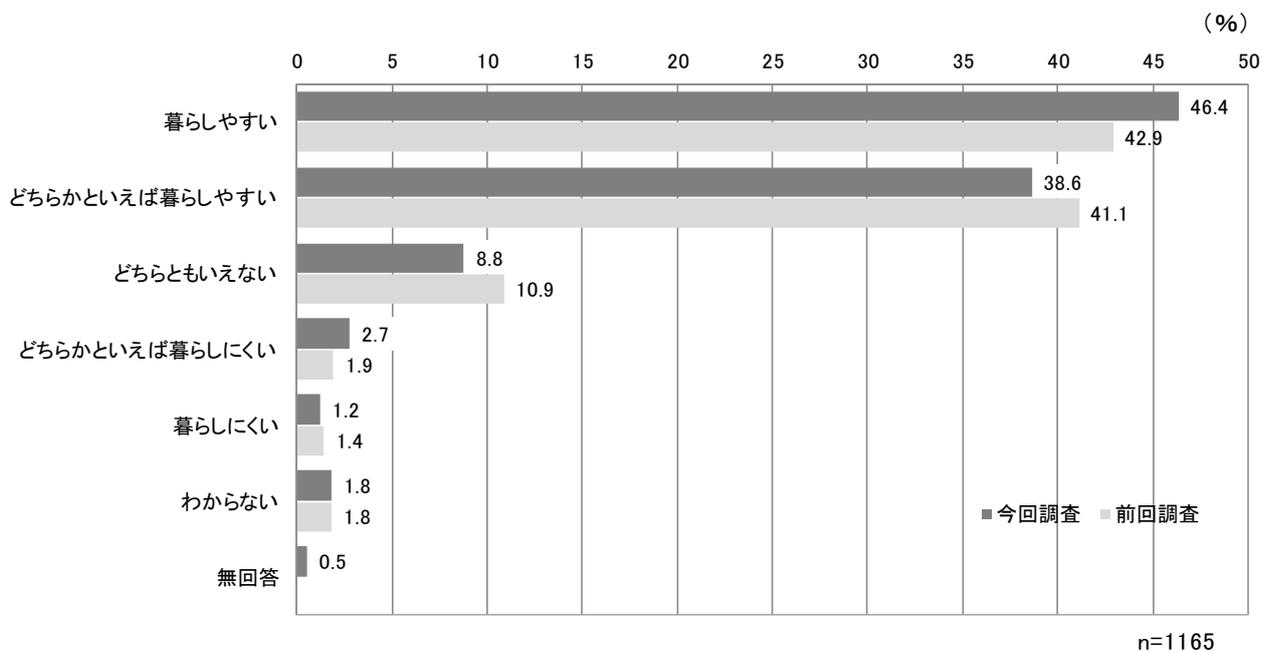
2 年齢（SA）



2. 今後の定住意向について

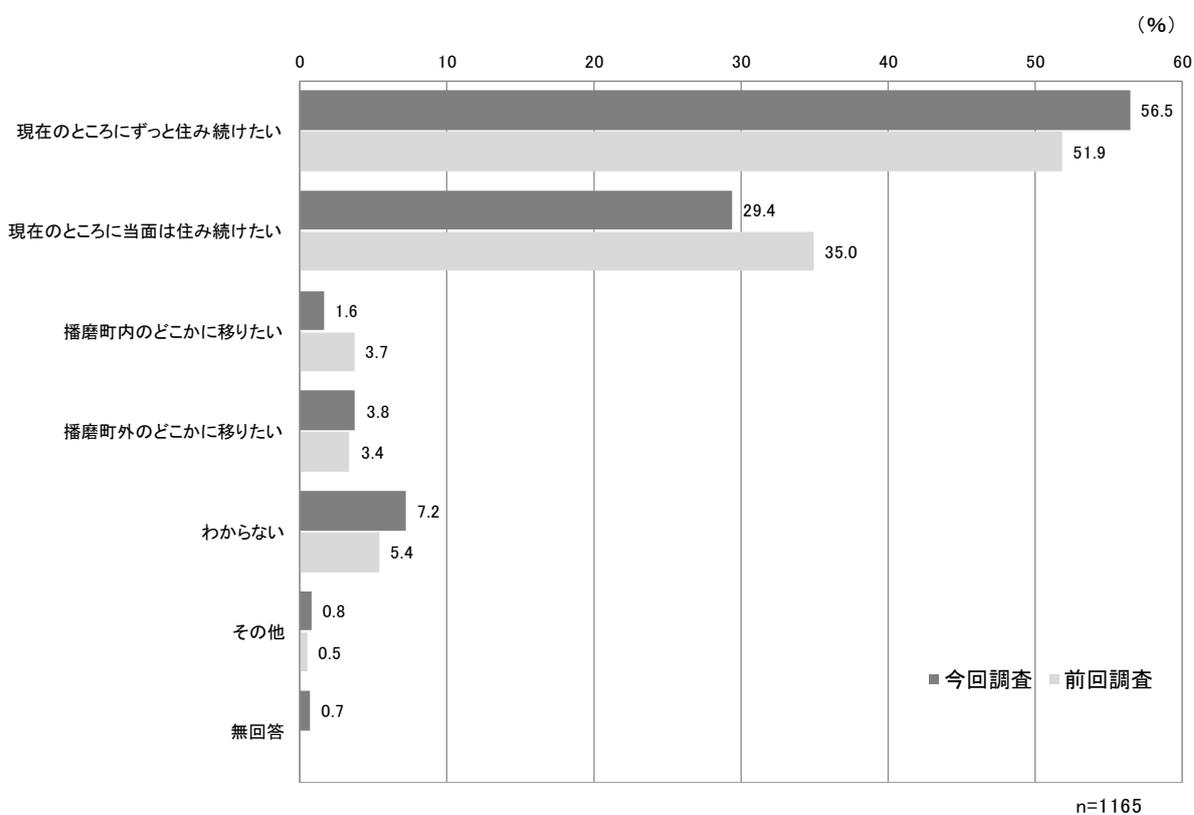
3 播磨町は暮らしやすいまちだと思うか（SA）

- ・「暮らしやすい」が 46.4%で最も割合が高く、次いで「どちらかといえば暮らしやすい」が 38.6%、「どちらともいえない」が 8.8%となっています。
- ・年齢別でみると、「10 歳代～50 歳代」と「80 歳以上」は「暮らしやすい」の割合が最も高く、「60 歳代～70 歳代」は「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高くなっています。
- ・地域別でみると「南大中」「野添」「上野添」「北野添」「東野添」「野添城」「南野添」「本荘」「東本荘」「二子」「宮北」は「暮らしやすい」の割合が最も高く、「西野添」「北本荘」「古宮」「古田」「宮西」は「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高くなっています。「大中」と「北古田」は「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が同率で最も割合が高くなっています。
- ・「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は 85.0%で、前回調査の 84.0%と比べ、やや『暮らしやすい』の割合が高くなっています。



4 今後も現在の場所に住み続けたいか（SA）

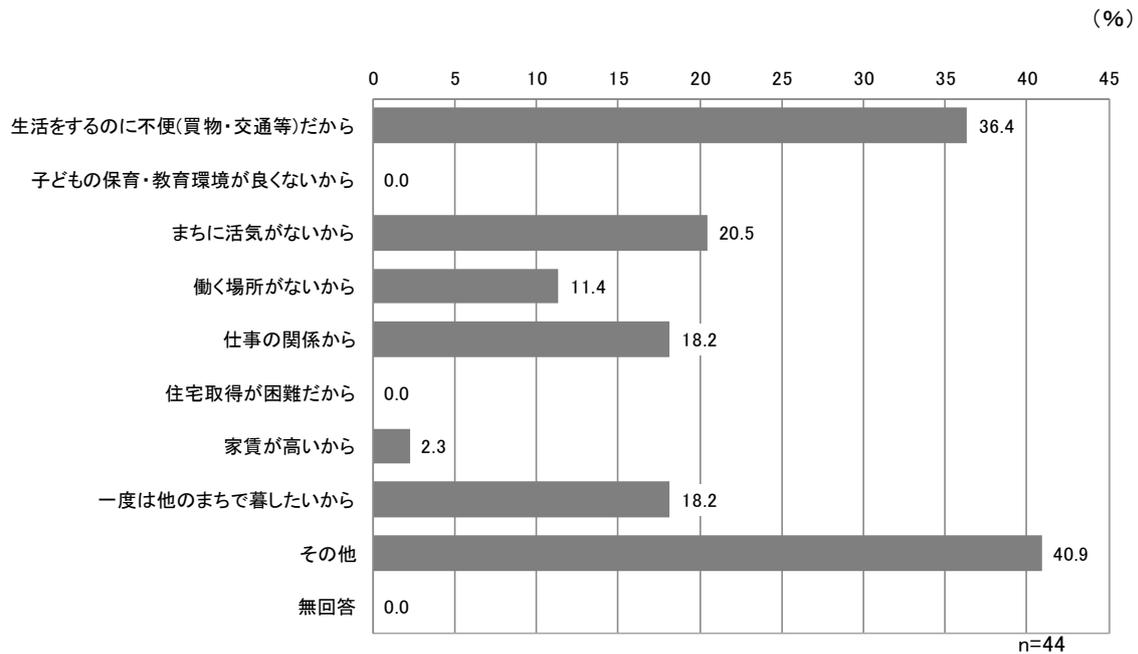
- 「現在のところにずっと住み続けたい」が56.5%で最も割合が高く、次いで「現在のところに当面は住み続けたい」が29.4%、「わからない」が7.2%となっています。
- 年齢別でみると、「10歳代～20歳代」は「現在のところに当面は住み続けたい」の割合が最も高く、「30歳代～80歳以上」は「現在のところにずっと住み続けたい」が最も高くなっています。
- 地域別でみると、すべての地域で「現在のところにずっと住み続けたい」の割合が最も高くなっています。
- 「現在のところにずっと住み続けたい」と「現在のところに当面は住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は85.9%で、前回調査の86.9%と比べ、やや『住み続けたい』の割合が減少しています。



4-1 引っ越したい理由（MA）

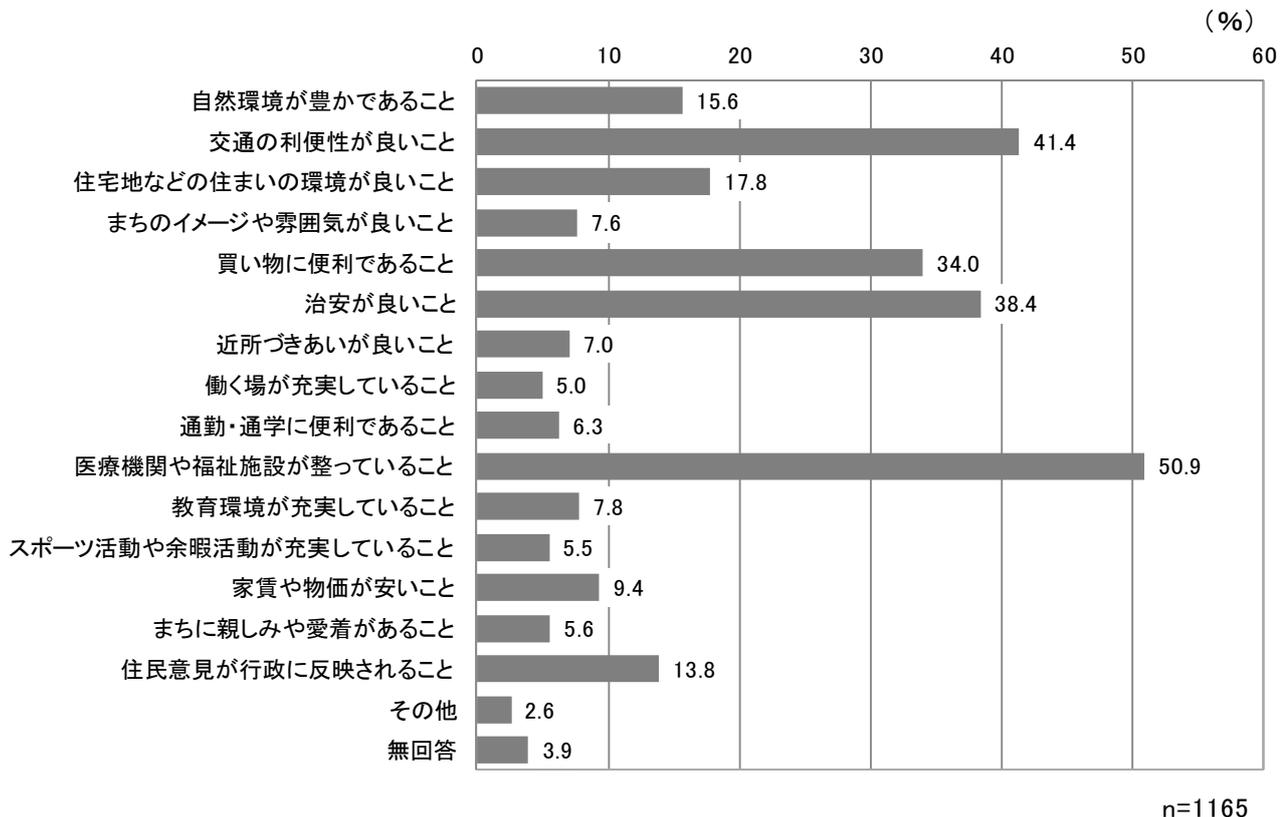
【4で「4. 播磨町外のどこかに移りたい」を選択した方限定】

- 「生活をするのに不便（交通・買い物等）だから」が36.4%で最も割合が高く、次いで「まちに活気がないから」が20.5%、「仕事の関係から」と「一度は他のまちで暮らしたいから」が18.2%となっています。（その他を除く）
- 「生活をするのに不便（交通・買い物等）だから」については、「30歳代～50歳代」で回答した人の割合が高く、「仕事の関係から」と回答した人については、「20歳代～30歳代」で回答した人の割合が高くなっています。



5 住み続けていくためにあったらよいもの（MA）

- 「医療機関や福祉施設が整っていること」が50.9%で最も割合が高く、次いで「交通の利便性が良いこと」が41.4%、「治安が良いこと」が38.4%となっています。
- 年齢別でみると、「10歳代」は「買い物に便利であること」と「治安が良いこと」の割合が同率で最も高くなっており、「20歳代」は「交通の利便性が良いこと」、「30歳代～50歳代」は「治安が良いこと」、「60歳代～80歳以上」は「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が高くなっています。
- 地域別でみると、「南大中」「野添」「西野添」「東野添」「野添城」「南野添」「本荘」「東本荘」「古宮」「二子」「宮北」「宮西」では「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が最も高く、「北本荘」「古田」「北古田」では「交通の利便性が良いこと」の割合が高くなっています。「大中」は「交通の利便性が良いこと」と「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が同率で最も高く、「上野添」「北野添」では「治安が良いこと」と「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が同率で最も高くなっています。



3. 町の主な施策の満足度・重要度について

分析方法

- ・問 11 で把握した、まちの取組の満足度・重要度について集計結果を点数化し、より詳細な分析を行います。

<点数化の手法>

満足度	重要度	点数化	処 理
満足	重要	100 点	満足度、重要度それぞれ、 合計点数を対象サンプル数で 除して平均値を算出 ※その際無回答は除外
やや満足	やや重要	75 点	
普通	普通	50 点	
やや不満	あまり重要ではない	25 点	
不満	重要ではない	0 点	
無回答	無回答	除外	

【計算例（満足度）】

<回答結果>

満足	15 サンプル
やや満足	30
どちらともいえない	50
やや不満	20
不満	10
無回答	10
回答対象者	135

<計算式>

$$\left[(15 \times 100) + (30 \times 75) + (50 \times 50) + (20 \times 25) + (10 \times 0) \right] / (135 - 10)$$

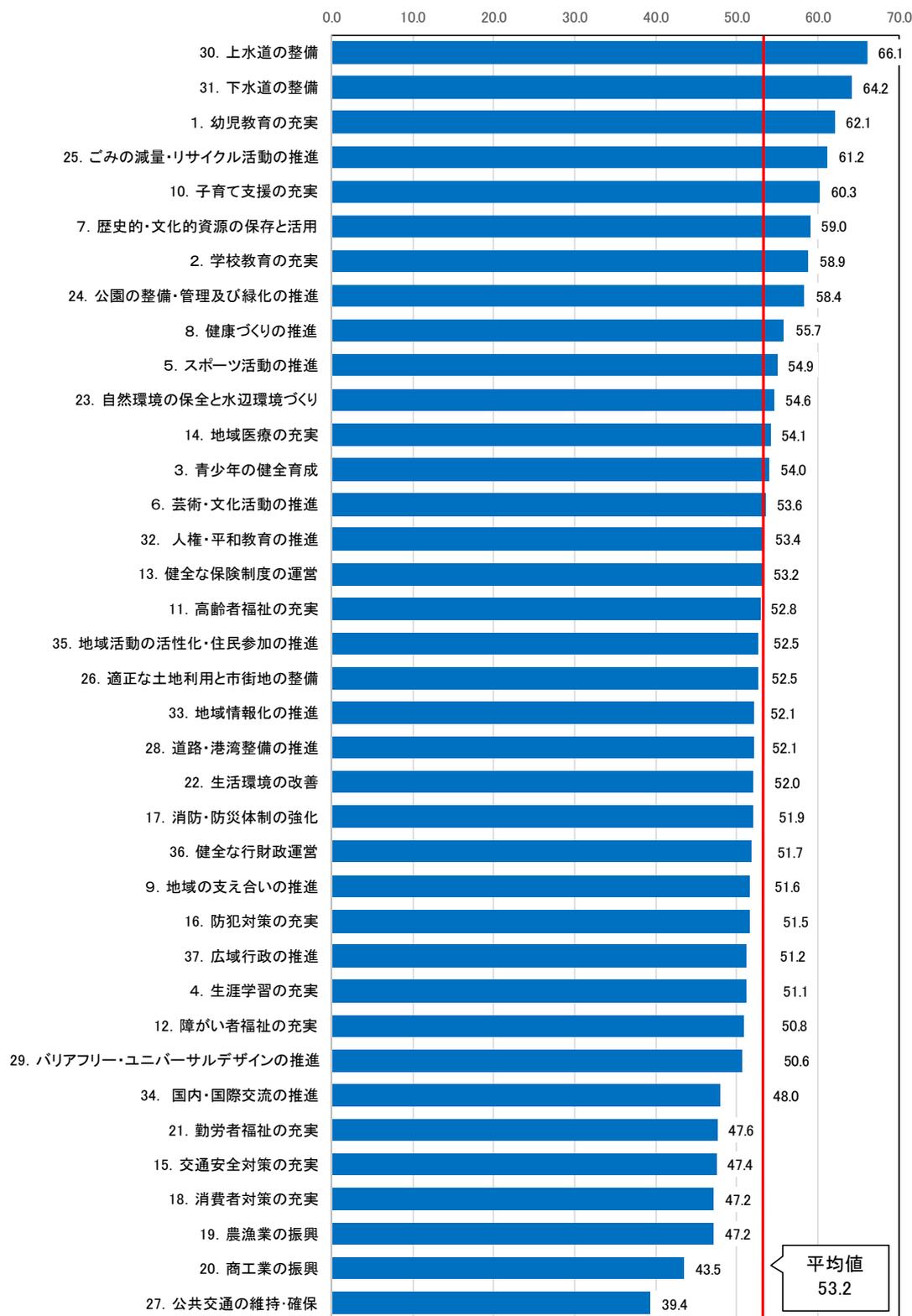
$$= 54.0$$

※小数点第2位を四捨五入して算出・表示

6 満足度

○平均値は、満足度が53.2となっています。

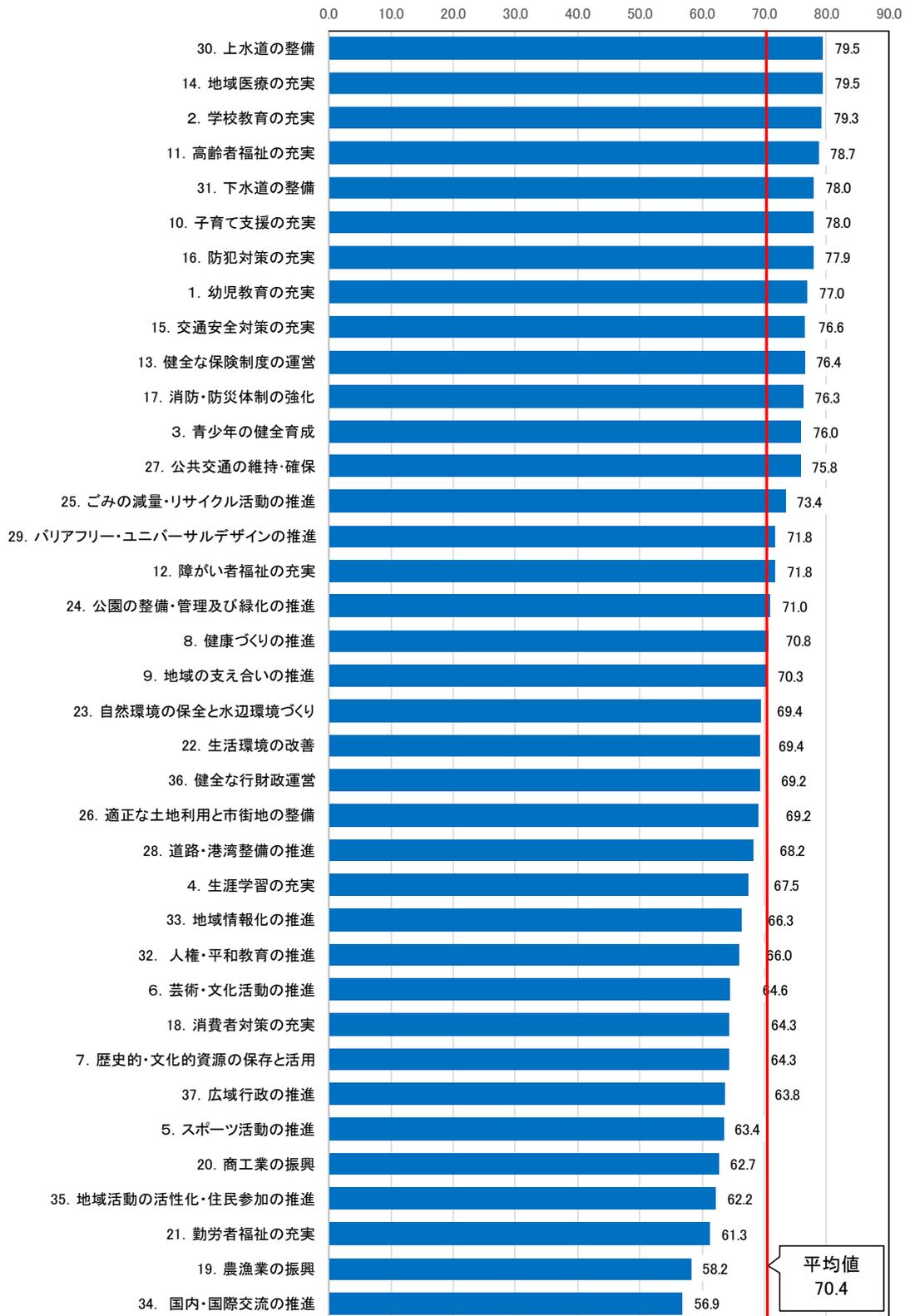
○「30.上水道の整備」「31.下水道の整備」「1.幼児教育の充実」が高くなっております。一方で、「27.公共交通の維持・確保」については、満足度が低くなっております。



7 重要度

○平均値は、70.4 となっています。

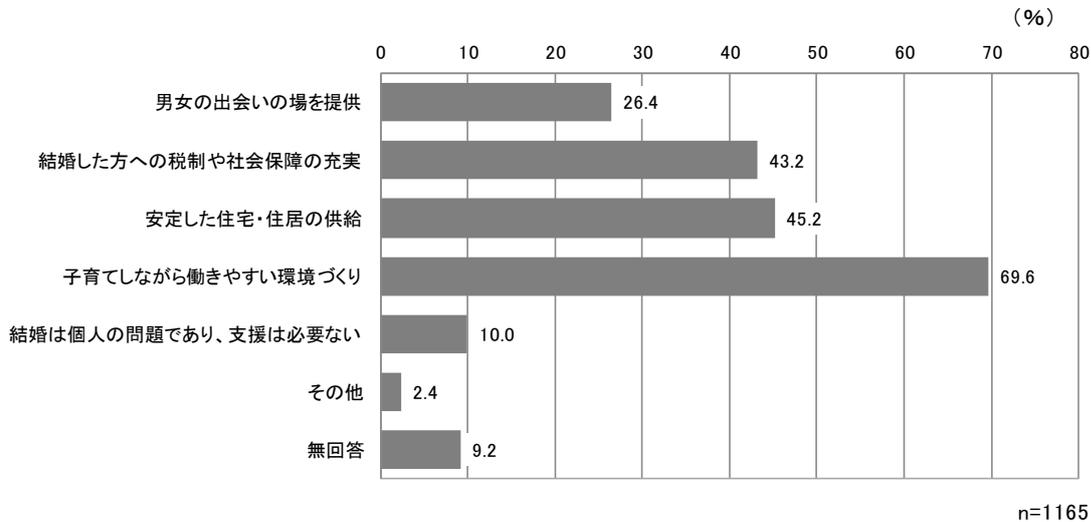
○「30.上水道の整備」「14.地域医療の充実」「2.学校教育の充実」が高くなっております。一方で、「34.国内・国際交流の推進」については、満足度が低くなっております。



4. 結婚・子育て・出産について

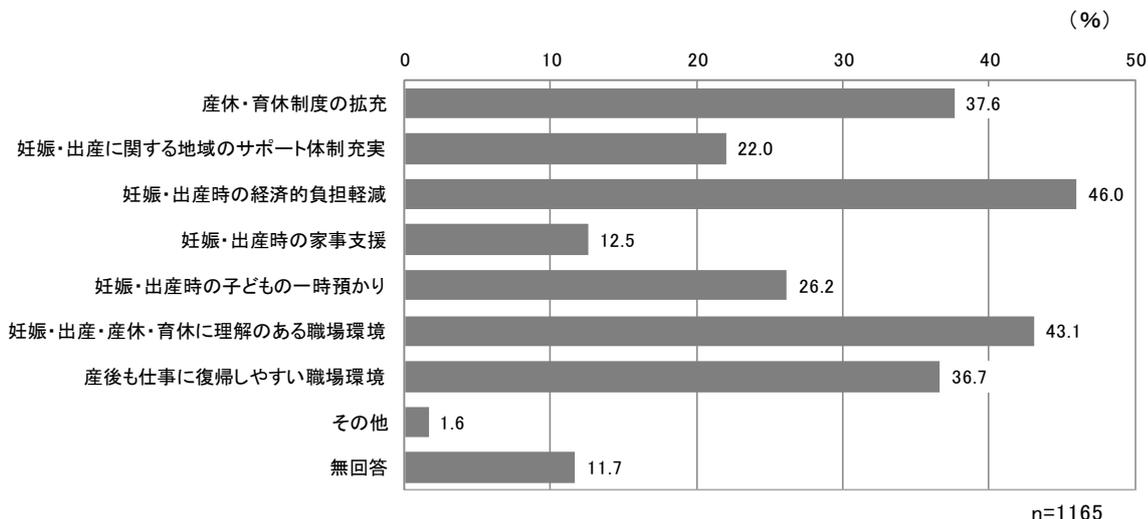
8 結婚しやすい、結婚したいと思える環境づくりのために必要な支援（MA）

- ・「子育てしながら働きやすい環境づくり」が69.6%で最も割合が高く、次いで「安定した住宅・住居の供給」が45.2%、「結婚した方への税制や社会保障の充実」が43.2%となっています。
- ・「子育てしながら働きやすい環境づくり」について男女別で見ると、「男性」の67.8%に対し、「女性」は71.5%と割合がやや高くなっています。
- ・「子育てしながら働きやすい環境づくり」について年齢別で見ると、「30歳代」が86.2%で最も割合が高く、次いで「20歳代」が79.0%、「10歳代」が78.9%となっています。



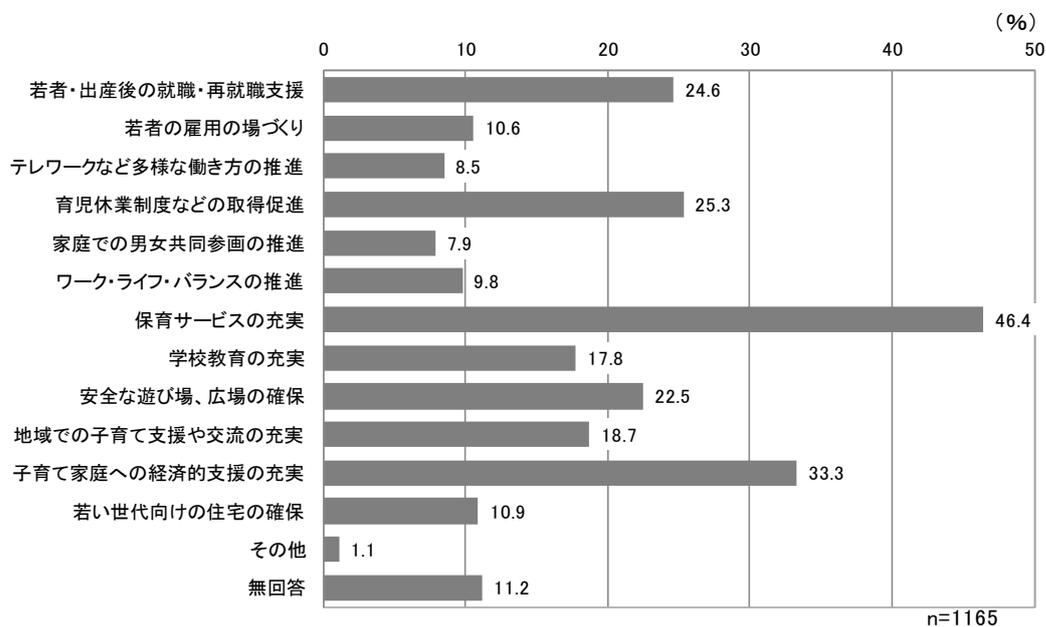
9 出産しやすい環境づくりのために必要な支援（MA）

- ・「妊娠・出産時の経済的負担軽減」が46.0%で最も割合が高く、次いで「妊娠・出産・産休・育休に理解のある職場環境」が43.1%、「産休・育休制度の拡充」が37.6%となっています。
- ・男女別で見ると、男性は「妊娠・出産時の経済的負担軽減」の割合が最も高く、女性は「妊娠・出産・産休・育休に理解のある職場環境」の割合が高くなっています。
- ・年齢別で見ると、「10歳代～50歳代」は「妊娠・出産時の経済的負担軽減」の割合が最も高く、「60歳代」は「妊娠・出産・産休・育休に理解のある職場環境」、「70歳代」は「産休・育休制度の拡充」、「80歳以上」は「産後も仕事に復帰しやすい職場環境」が最も高くなっています。



10 子育てしやすい環境づくりのために必要な支援（MA）

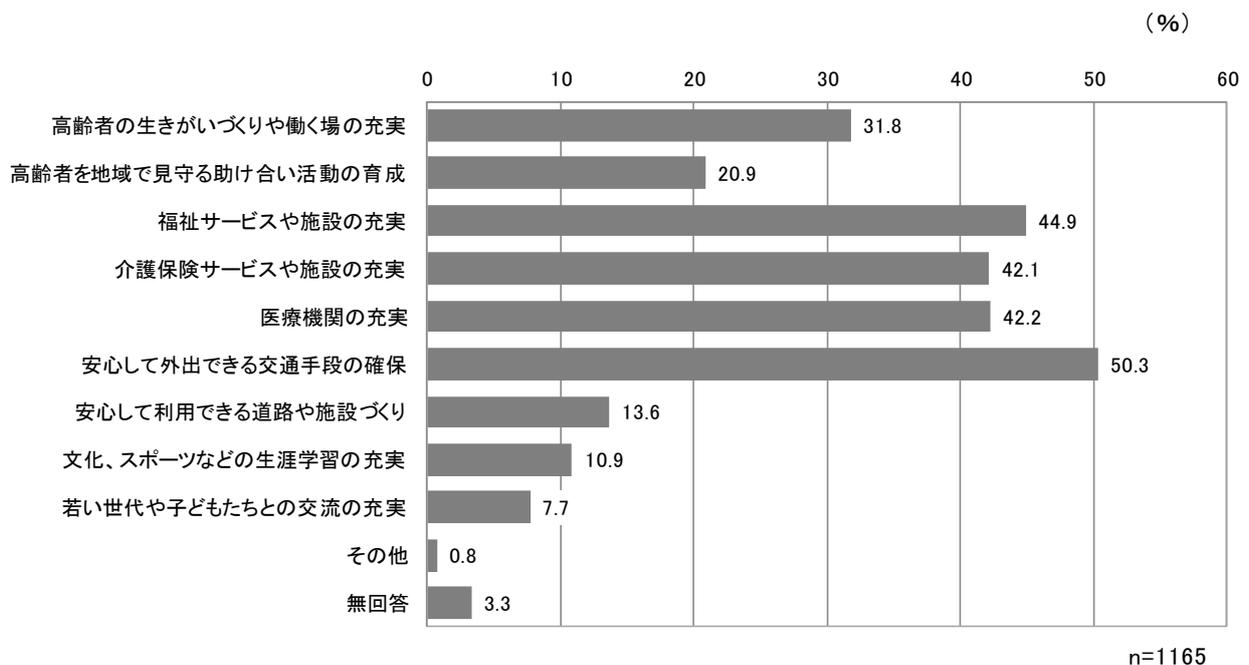
- 「保育サービスの充実」が46.4%で最も割合が高く、次いで「子育て家庭への経済的支援の充実」が33.3%、「育児休業制度などの取得促進」が25.3%となっています。
- 男女別で見ると、「保育のサービスの充実」について「男性」の45.7%に対し、「女性」が47.3%と割合がやや高くなっています。
- 年齢別で見ると、「10歳代」は「子育て家庭への経済的支援の充実」の割合が最も高く、「30歳代～80歳代」は「保育サービスの充実」の割合が高くなっています。「20歳代」は「保育サービスの充実」と「子育て家庭への経済的支援の充実」が同率で最も割合が高くなっています。



5. 高齢化対策について

1.1 高齢者が安心して生活をするために力を入れるべき項目（MA）

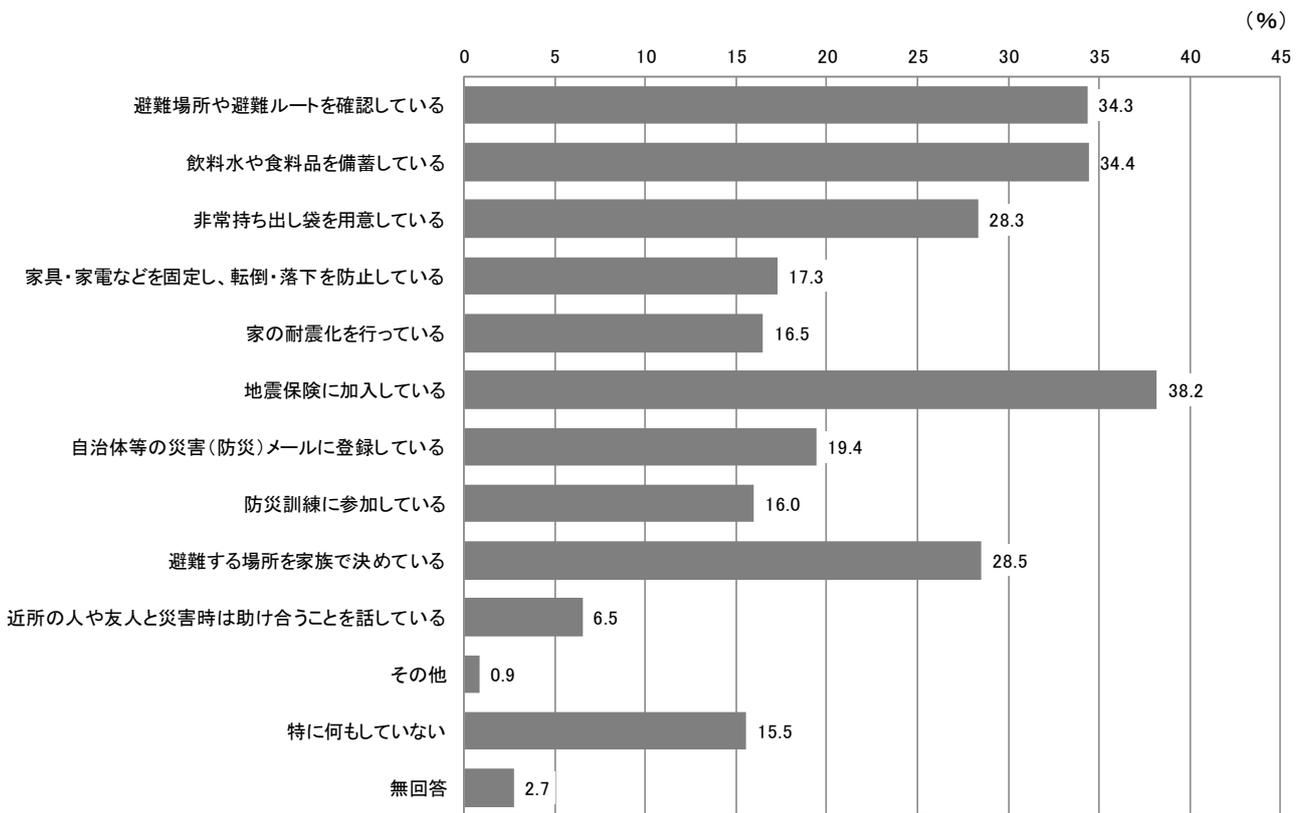
- ・「安心して外出できる交通手段の確保」が50.3%で最も割合が高く、次いで「福祉サービスや施設の充実」が44.9%、「医療機関の充実」が42.2%となっています。
- ・年齢別でみると、「10歳代」が「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」の割合が最も高く、次いで「20歳代～40歳代」と「60歳代～70歳以上」が「安心して外出できる交通手段の確保」、「50歳代」が「福祉サービスや施設の充実」、80歳以上が「介護保険サービスや施設の充実」と「医療機関の充実」の割合が同率で高くなっております。
- ・地域別でみると、「大中」「南大中」「上野添」「北野添」「野添城」「南野添」「北本荘」「東本荘」「古宮」「古田」「北古田」「宮北」では「安心して外出できる交通手段の確保」、「本荘」「宮西」では「福祉サービスや施設の充実」、「東野添」「二子」では、「介護保険サービスや施設の充実」、「西野添」では「医療機関の充実」、「野添」では「介護保険サービスや施設の充実」と「医療機関の充実」の割合が同率で最も高くなっています。



6. 防災対策について

12 南海トラフ大地震に備えて行っている準備（MA）

- 「地震保険に加入している」が38.2%で最も割合が高く、次いで「飲料水や食料品を備蓄している」が34.4%、「避難所や避難ルートを確認している」が34.3%となっています。
- 年齢別でみると、「10歳代」は「避難する場所を家族で決めている」、「20歳代」は「飲料水や食料品を備蓄している」、「30歳代～70歳代」は「地震保険に加入している」、「80歳以上」は「避難場所や避難ルートを確認している」の割合が最も高くなっています。
- 地域別でみると、「南大中」「野添」「東野添」「南野添」「東本荘」「古宮」「二子」「古田」では「地震保険に加入している」、「北本荘」「宮北」「宮西」は「避難場所や避難ルートを確認している」、「北野添」「西野添」は「飲料水や食料品を備蓄している」、「北古田」は「防災訓練に参加している」、「野添城」は「避難する場所を家族で決めている」の割合が最も高くなっています。「上野添」は「非常持ち出し袋を用意している」と「地震保険に加入している」が同率で最も割合が高く、「本荘」は「避難場所や避難ルートを確認している」と「非常持ち出し袋を用意している」が同率で最も割合が高くなっています。

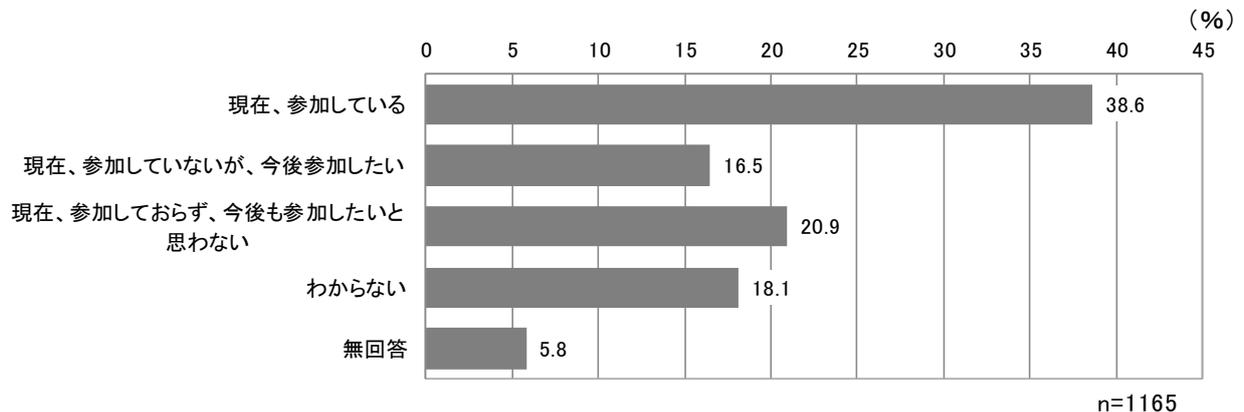


n=1165

7. 住民協働のまちづくりについて

1.3 地域活動（自治会の活動やボランティア活動など）に参加したことがあるか（SA）

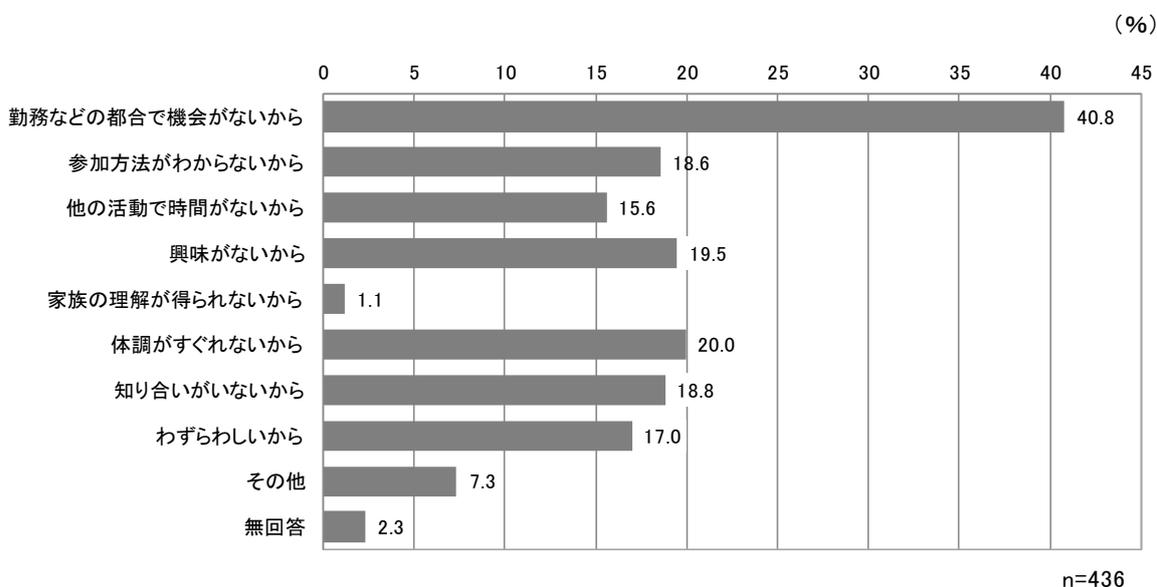
- 「現在、参加している」が38.6%で最も割合が高く、次いで「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が20.9%、「わからない」が18.1%となっています。
- 年齢別でみると、「10歳代」は「わからない」、「20歳代」は「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」、「30歳代～80歳代」は「現在、参加している」の割合が最も高くなっています。
- 地域別でみると、「大中」「南大中」「野添」「上野添」「北野添」「西野添」「東野添」「野添城」「本荘」「北本荘」「東本荘」「古宮」「古田」「北古田」「宮北」「宮西」が「現在参加している」、「南野添」が「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」、「二子」が「現在、参加している」と「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」の割合が同率で最も高くなっています。



13-1 地域活動に参加していない理由（MA）

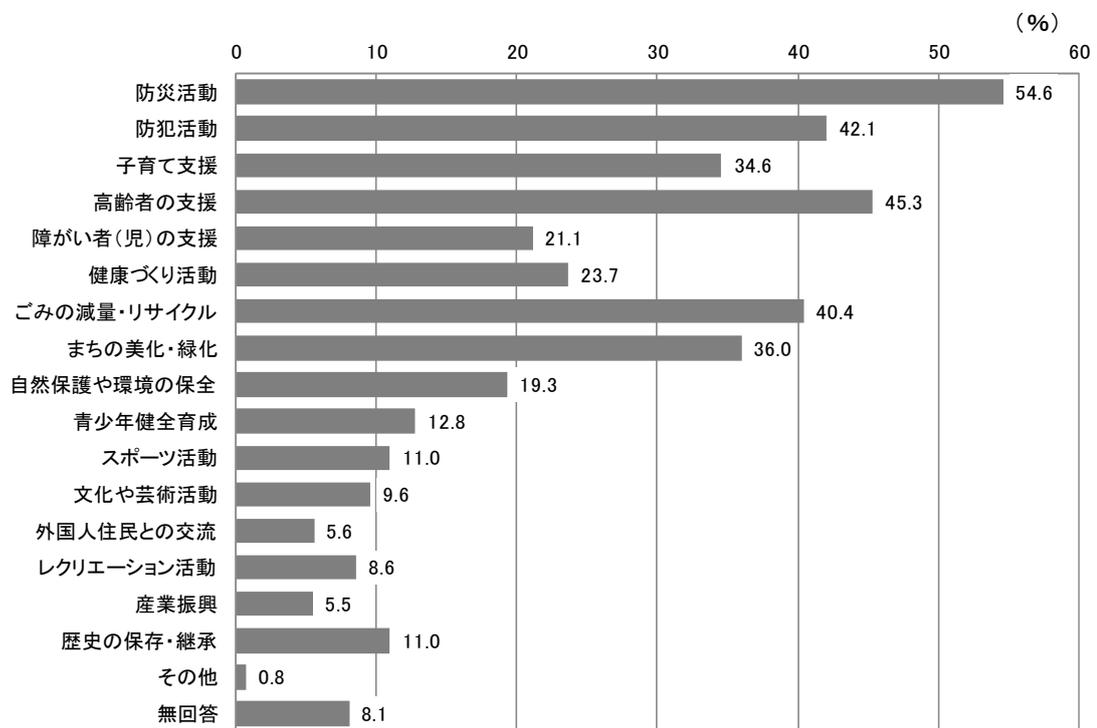
【13で「2. 現在、参加していないが、今後参加したい」「3. 現在、参加しておらず、今後も参加したいとは思わない」を選択した方限定】

- 「勤務の都合で機会がないから」が40.8%で最も割合が高く、次いで「体調がすぐれないから」が20.0%、「興味がないから」が19.5%となっています。
- 年齢別でみると、「10歳代～60歳代」は「勤務などの都合で機会がないから」、「70歳代～80歳代」は「体調がすぐれないから」の割合が最も高くなっています。
- 地域別でみると、「大中」「南大中」「上野添」「北野添」「西野添」「東野添」「南野添」「本荘」「北本荘」「東本荘」「古宮」「二子」「古田」は「勤務などの都合で機会がないから」、「野添城」「北古田」は「他の活動で時間がないから」、「宮北」は「体調がすぐれないから」、「野添」は「勤務などの都合で機会がないから」と「わずらわしいから」が同率、「宮西」は「勤務などの都合で機会がないから」と「体調がすぐれないから」が同率で最も割合が高くなっています。



14 住民が積極的に参加すべき事（MA）

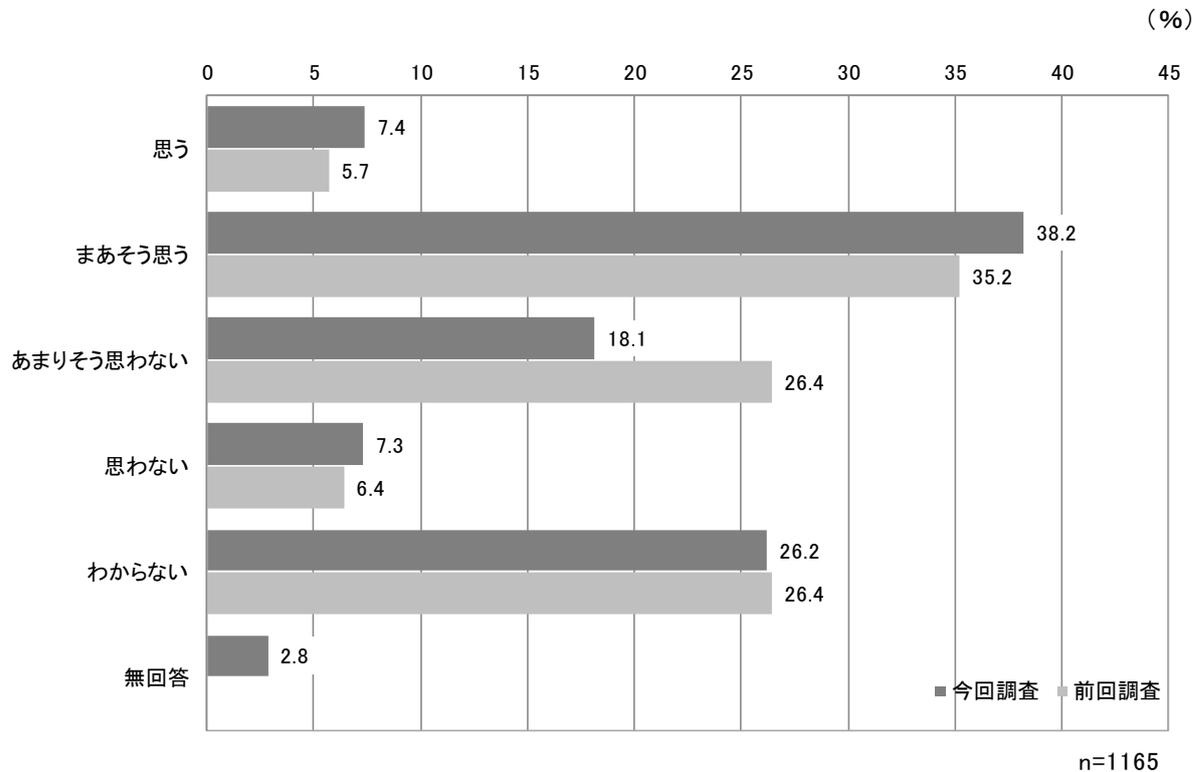
- 「防災活動」が 54.6%で最も割合が高く、次いで「高齢者の支援」が 45.3%、「防犯活動」が 42.1%となっています。
- 年齢別でみると、「10 歳代」が「防災活動」と「子育て支援」が同率、「20 歳代～60 歳代」は「防災活動」、「70 歳代～80 歳以上」は「高齢者の支援」の割合が最も高くなっています。
- 地域別でみると、「大中」「野添」「上野添」「北野添」「西野添」「野添城」「南野添」「本荘」「北本荘」「古宮」「二子」「古田」「北古田」「宮西」は「防災活動」、「東本荘」は「防犯活動」、「宮北」は「高齢者の支援」、「南大中」と「東野添」は「防災活動」と「防犯活動」が同率で最も割合が高くなっています。



n=1165

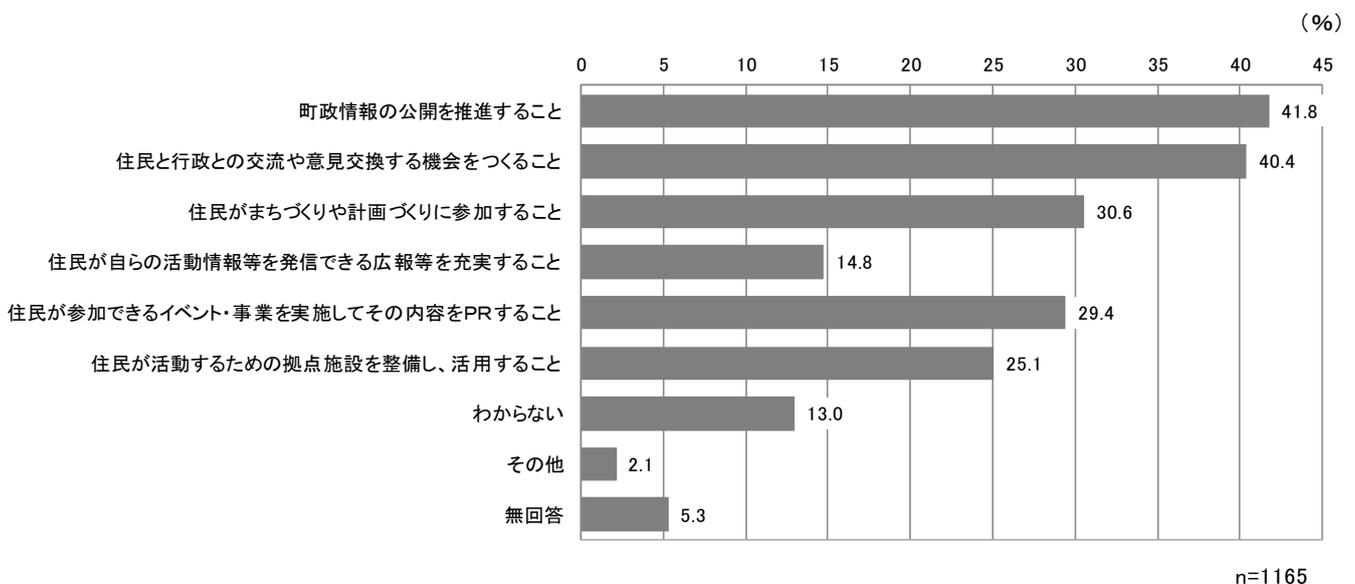
15 住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うか（SA）

- 「まあそう思う」が38.2%で最も割合が高く、次いで「わからない」が26.2%、「あまりそう思わない」が18.1%となっています。
- 年齢別でみると、「10歳代」と「30歳代～80歳以上」は「まあそう思う」、「20歳代」は「まあそう思う」と「わからない」が同率で最も割合が高くなっています。
- 地域別でみると、「大中」「南大中」「上野添」「北野添」「西野添」「東野添」「南野添」「本荘」「北本荘」「東本荘」「古宮」「二子」「古田」「北古田」「宮北」「宮西」は「まあそう思う」、「野添」は「わからない」、「野添城」は「あまりそう思わない」の割合が最も高くなっています。
- 「思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』は45.6%で、前回調査の40.9%と比べ、やや『思う』の割合が高くなっています。



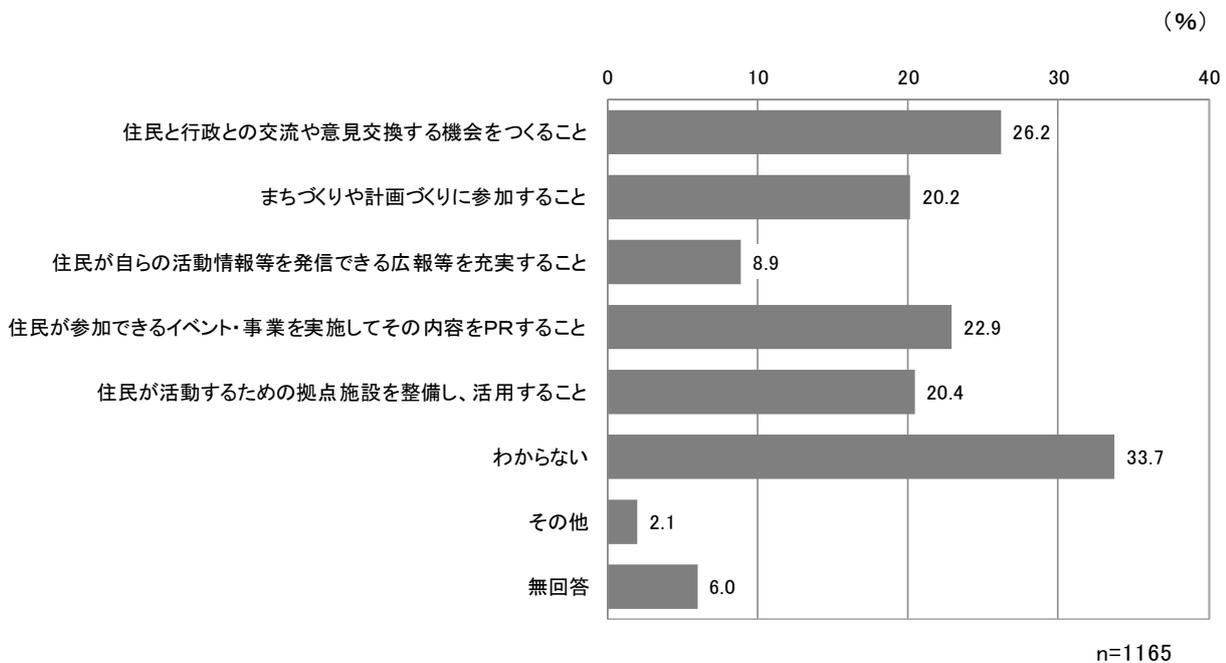
16 住民と行政が協働してまちづくりを行う上で必要であると思うもの（MA）

- 「町政情報の公開を推進すること」が41.8%で最も割合が高く、次いで「住民と行政との交流や意見交換会の機会を作ること」が40.4%、「住民がまちづくりや計画づくりに参加すること」が30.6%となっています。
- 年齢別で見ると、「10歳代」は「住民が参加できるイベント・事業を実施してその内容をPRすること」、「20歳代」と「50歳代～70歳代」は「町政情報の公開を推進すること」、「30歳代～40歳代」と「80歳以上」は「住民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」の割合が最も高くなっています。
- 地域別で見ると、「大中」「野添」「上野添」「西野添」「野添城」「南野添」「古田」「宮西」は「町政情報の公開を推進すること」、「南大中」「北野添」「東野添」「北本荘」「古宮」「北古田」「宮北」は「住民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」、「本荘」は「住民がまちづくりや計画づくりに参加すること」、「東本荘」は「住民が参加できるイベント・事業を実施してその内容をPRすること」、「二子」は「町政情報の公開を推進すること」と「住民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」が同率で最も割合が高くなっています。



17 参加しても良いと思う活動（MA）

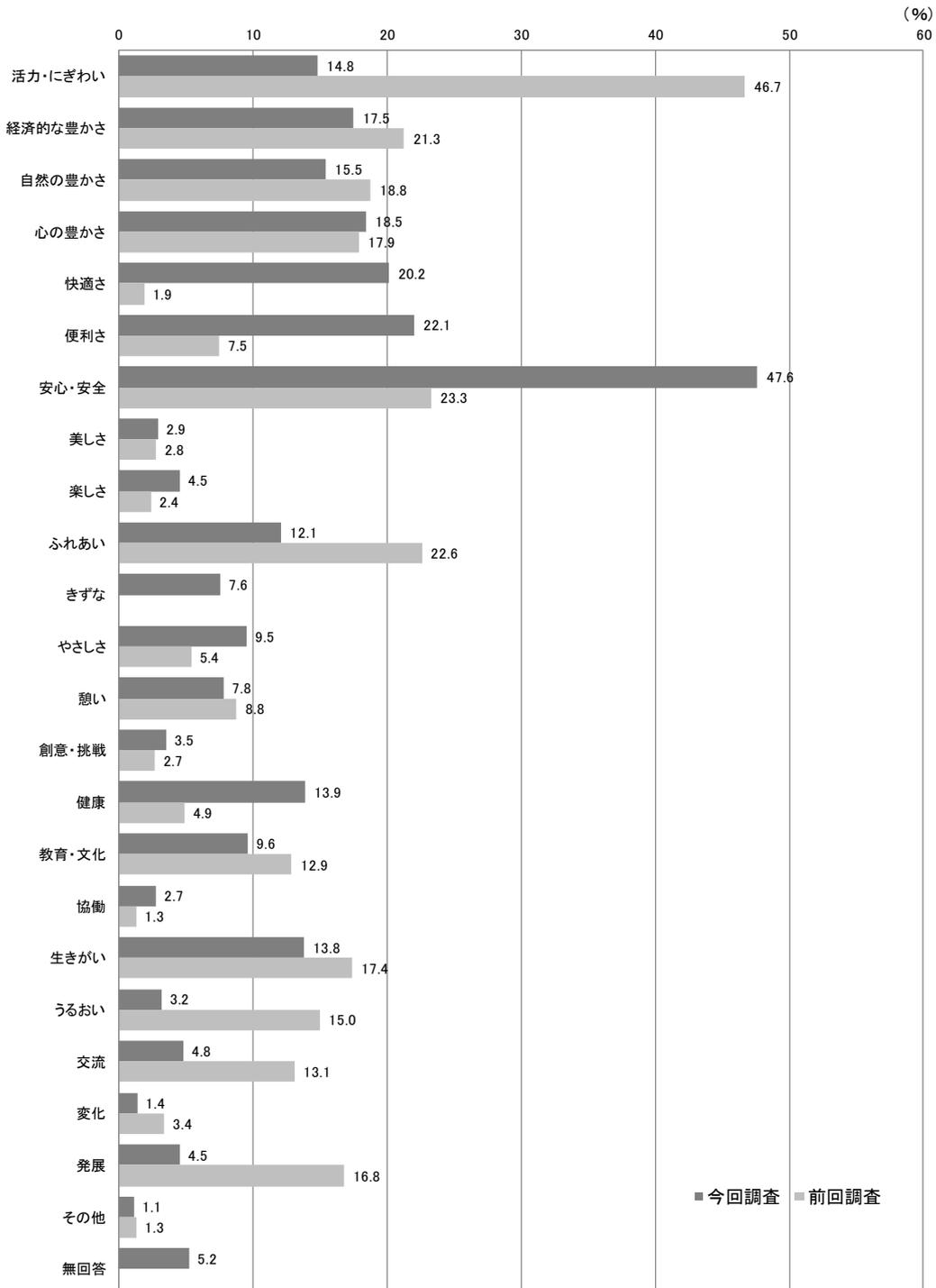
- 「わからない」が33.7%で最も割合が高く、次いで「住民と行政との交流や意見交換する機会を作ること」が26.2%、「住民が参加できるイベント・事業を実施してその内容をPRすること」が22.9%となっています。
- 年齢別で見ると、「10歳代～30歳代」と「50歳代～80歳代」は「わからない」、「40歳代」は「住民と行政との交流や意見交換する機会を作ること」の割合が最も高くなっています。
- 地域別で見ると、「大中」「南大中」「上野添」「北野添」「西野添」「南野添」「本荘」「古田」「宮北」は「わからない」、「東野添」「東本荘」「古宮」「二子」「北古田」「宮西」は「住民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」、「野添」は「まちづくりや計画づくりに参加すること」、「北本荘」は「住民が参加できるイベント・事業を実施してその内容をPRすること」、「野添城」は「まちづくりや計画づくりに参加すること」と「住民が活動するための拠点施設を整備し、活用すること」の割合が同率で最も高くなっています。



8. まちのイメージについて

18 今後、めざしてゆくべき播磨町の姿（MA）

- ・「安心・安全」が47.6%で最も割合が高く、次いで「便利さ」が22.1%、「快適さ」が20.2%となっています。（「きずな」は、今回の調査より追加）
- ・年齢別、地域別のすべてにおいて、「安心・安全」の割合が最も高くなっています。
- ・「安心・安全」について、前回調査の23.3%と比べ、今回の47.6%と大幅に増加している一方で、「活力・にぎわい」について、前回の46.7%と比べ、今回の14.8%と大幅に減少しています。



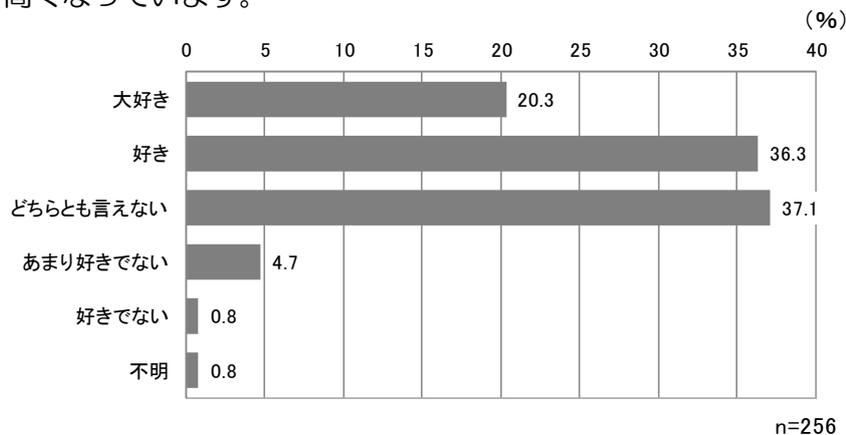
n=1165

III 中学生アンケート調査

1. 播磨町について

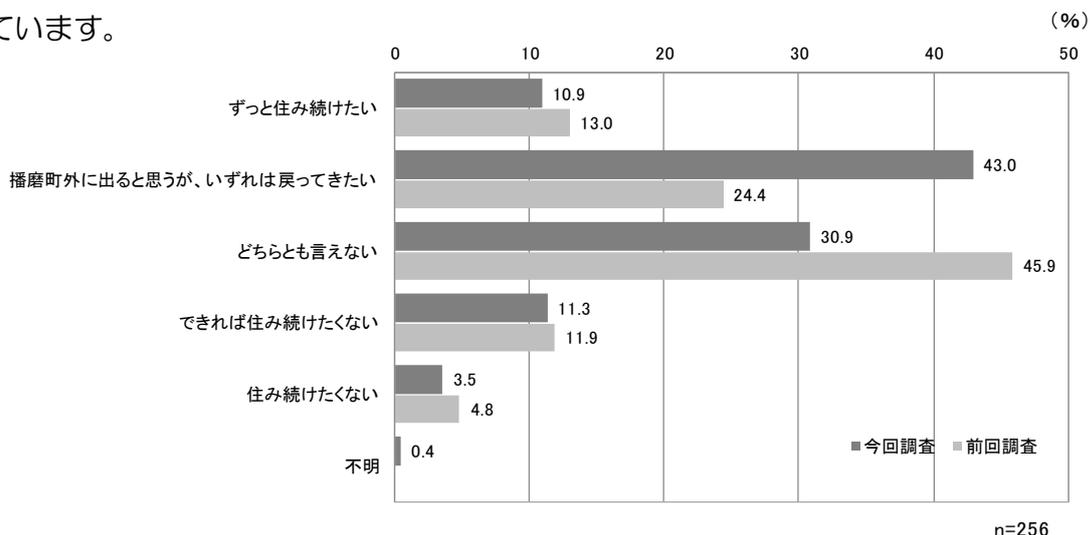
1 播磨町が好きか（SA）

- ・「大好き」「好き」を合わせた『好き』が 56.6%、「あまり好きでない」「好きでない」を合わせた『好きでない』が 5.5%となっています。
- ・『好きでない』について性別でみると、“女子”の 2.4%に対し、“男子”は 8.4%と、やや割合が高くなっています。
- ・『好きでない』について中学校別でみると、播磨中学校の 2.1%に対し、播磨南中学校は 10.2%と、割合が高くなっています。



2 播磨町は住み続けたいまちだと思うか（SA）

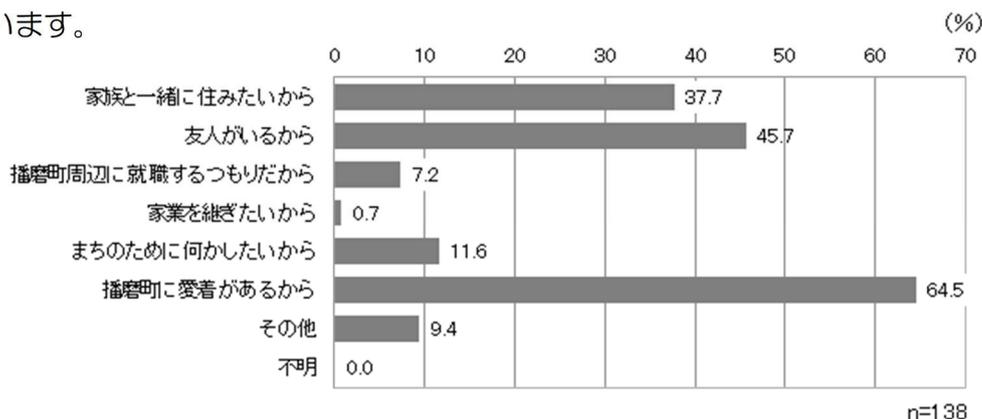
- ・「ずっと住み続けたい」「播磨町外に出ると思うが、いずれは戻ってきたい」を合わせた『住み続けたい』が 53.9%、「できれば住み続けたくない」「住み続けたくない」を合わせた『住み続けたくない』が 14.8%となっています。
- ・『住み続けたくない』について性別でみると、“男子”の 13.7%に対し、“女子”は 16.0%と、割合がやや高くなっています。
- ・『住み続けたくない』について中学校別でみると、播磨中学校の 8.1%に対し、“播磨南中学校”は 24.3%と、割合が高くなっています。
- ・『住み続けたい』について、前回調査の 37.4%と比べ、今回調査の 53.9%と割合が高くなっています。



2-1 播磨町に住み続けたい理由（MA）

【2で「1. ずっと住み続けたい」「2. 播磨町外に出ると思うが、いずれは戻ってきたい」を選択した方限定】

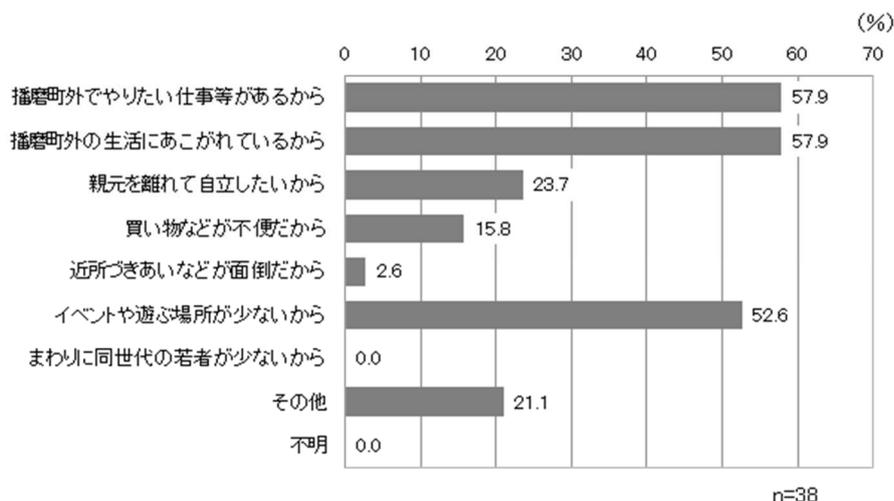
- 「播磨町に愛着があるから」が64.5%で最も割合が高く、次いで「友人がいるから」が45.7%、「家族と一緒に住みたいから」が37.7%となっています。
- 「播磨町に愛着があるから」について性別でみると、“男子”の61.4%に対し、“女子”は67.6%と、割合がやや高くなっています。
- 中学校別でみると、“播磨中学校”で「播磨町に愛着があるから」と回答した人の割合が高くなっています。



2-2 播磨町に住み続けたくない理由（MA）

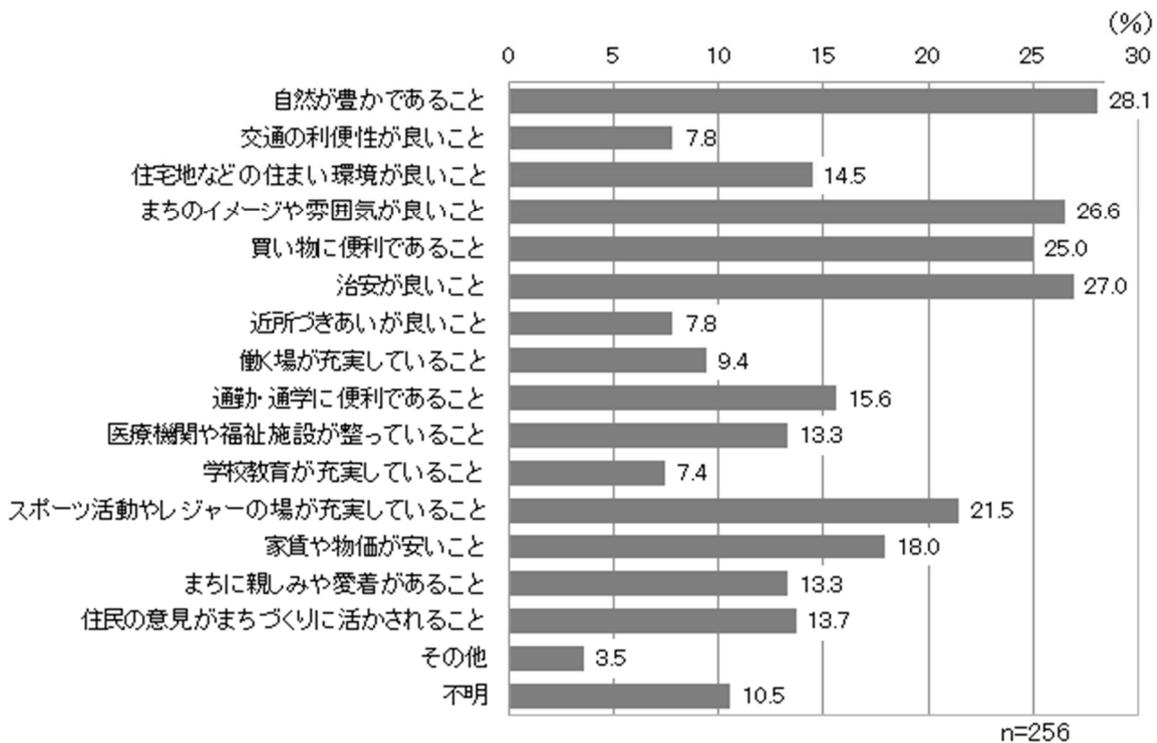
【2で「4. できれば住み続けたくない」「5. 住み続けたくない」を選択した方限定】

- 「播磨町外でやりたい仕事等があるから」と「播磨町外の生活にあこがれているから」がともに57.9%で割合が高く、次いで「イベントや遊ぶ場所が少ないから」が52.6%、「親元をはなれて自立したいから」が23.7%となっています。
- 「播磨町外でやりたい仕事等があるから」について性別でみると、“男子”の44.4%に対し、“女子”は70.0%と、割合が高くなっています。
- 中学校別でみると、“播磨中学校”で「播磨町外でやりたい仕事等があるから」と回答した人の割合が高くなっています。



3 播磨町に住み続けていくためにあったらよいもの（MA）

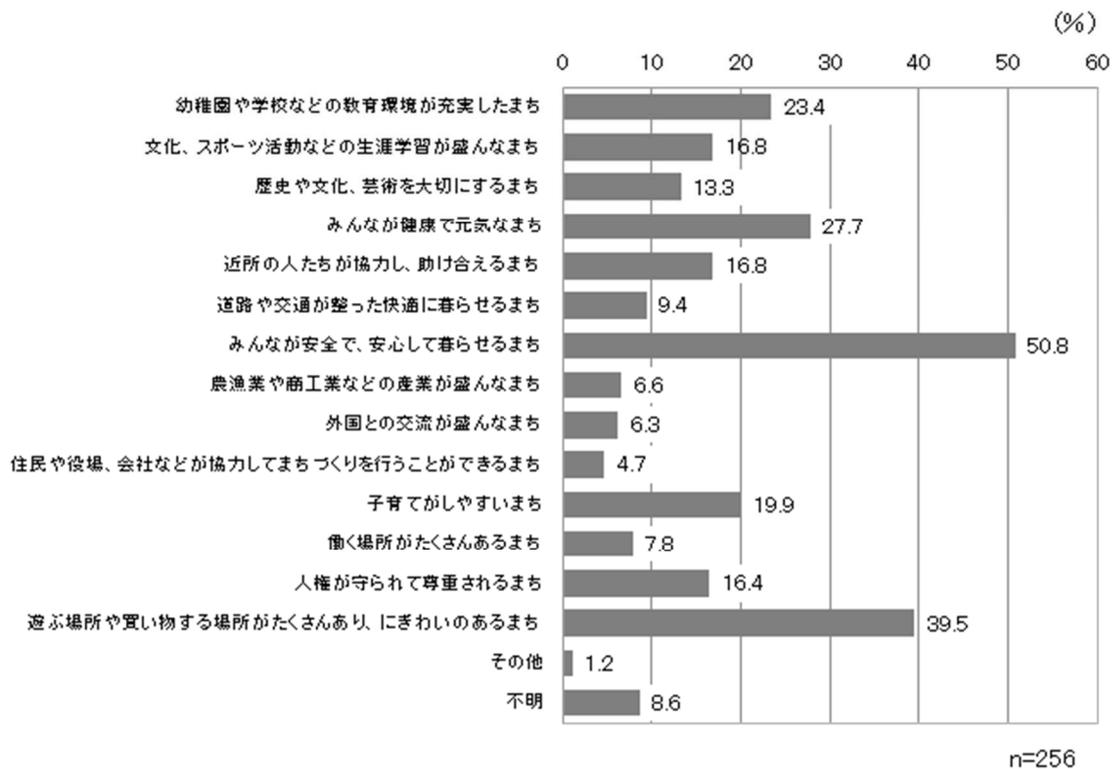
- 「自然が豊かであること」が28.1%と最も割合が高く、次いで「治安が良いこと」が27.0%、「まちのイメージや雰囲気が良いこと」が26.6%となっています。
- 「自然が豊かであること」について性別でみると、“女子”の22.4%に対し、“男子”の33.6%と割合が高くなっています。
- 「自然が豊かであること」について中学校別でみると、“播磨中学校”の32.4%と、“播磨南中学校”に比べて割合が高くなっています。



2. これからの播磨町について

4 播磨町が将来どのようなまちになってほしいか（MA）

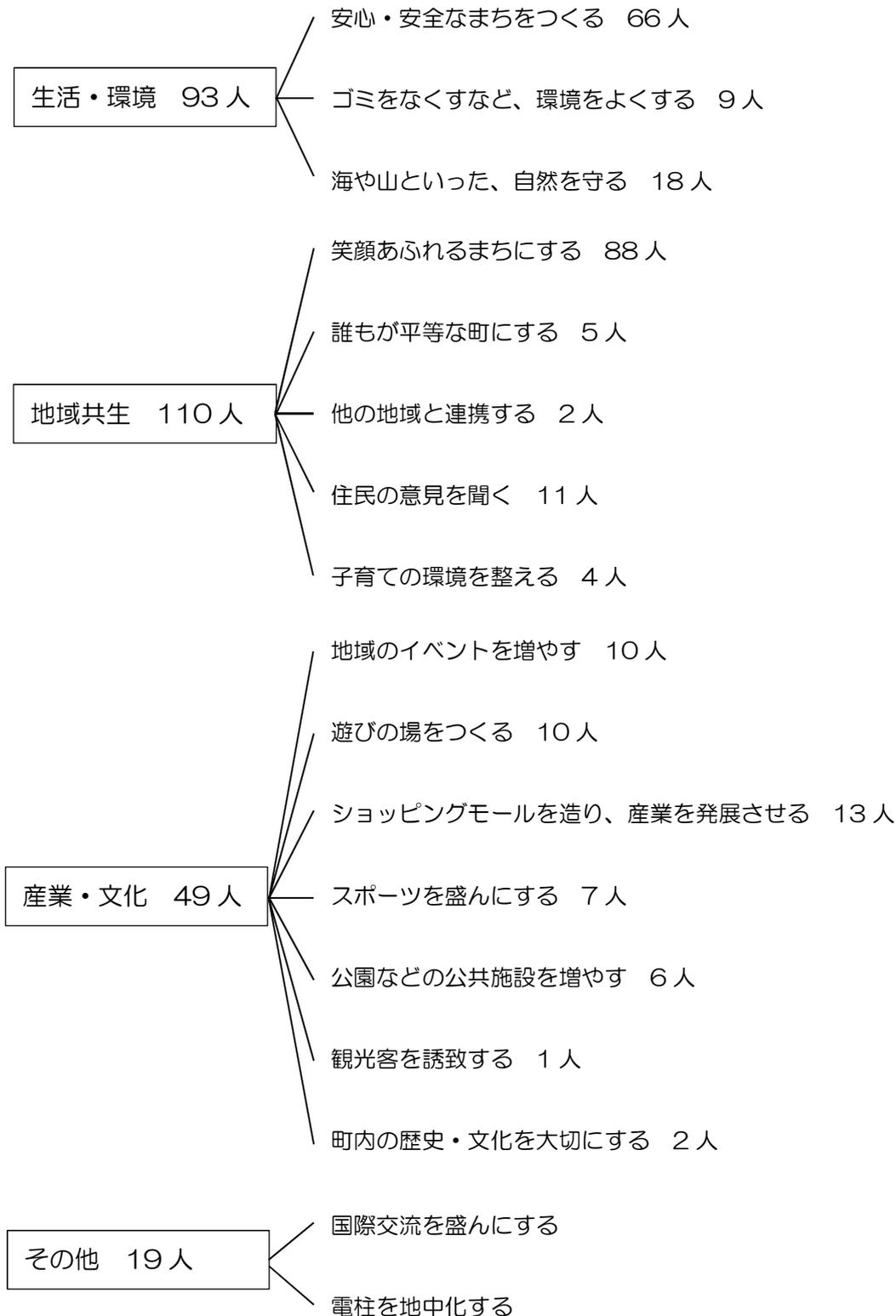
- ・「みんなが安全で、安心して暮らせるまち」が50.8%で最も割合が高く、次いで「遊ぶ場所や買い物する場所がたくさんあり、にぎわいのあるまち」が39.5%、「みんなが健康で元気なまち」が27.7%となっています。
- ・「みんなが安全で、安心して暮らせるまち」について性別でみると、“男子”の46.6%に対し、“女子”は55.2%と、割合が高くなっています。
- ・「みんなが安全で、安心して暮らせるまち」について性別でみると、“播磨南中学校”の46.7%に対し、“播磨中学校”は54.1%と、割合が高くなっています。



5 播磨町についてめざすまちの姿（F A）

・「あなたが、もし播磨町の町長になったとしたら、これからどのようなまちをめざしていきま
すか」という問いに対し、256 人からまちのキーワードやキャッチフレーズ、アイデアなど
が挙げられました。おもな項目としては、次のとおりです。

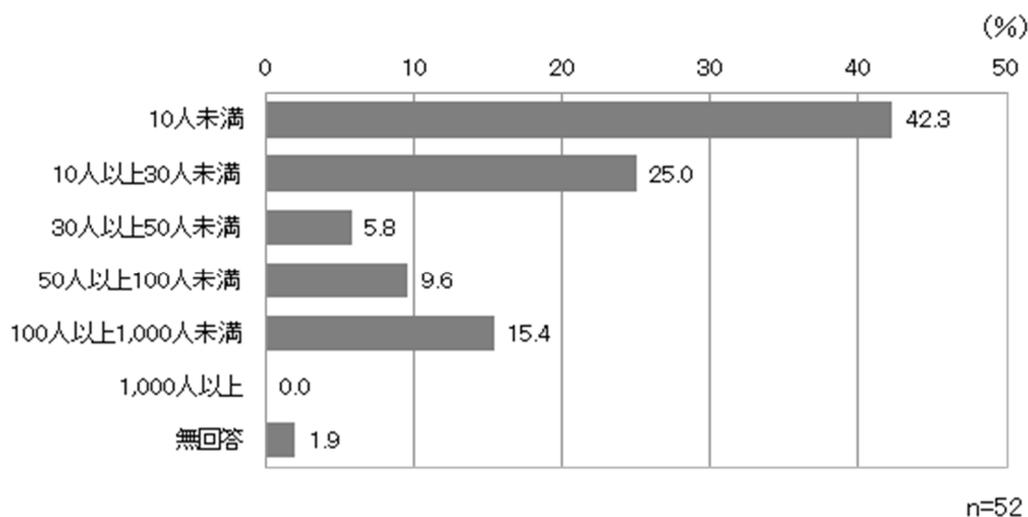
【播磨町についてめざすまちの姿】



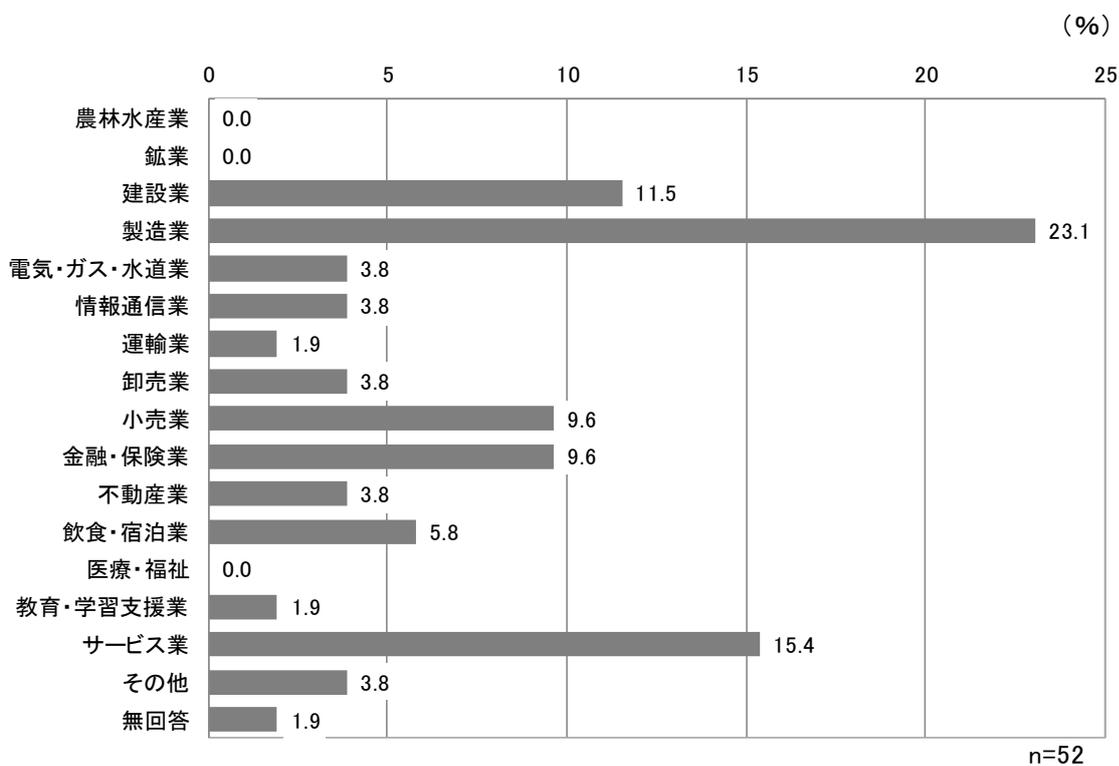
IV 事業所アンケート調査

1. 貴事業所について

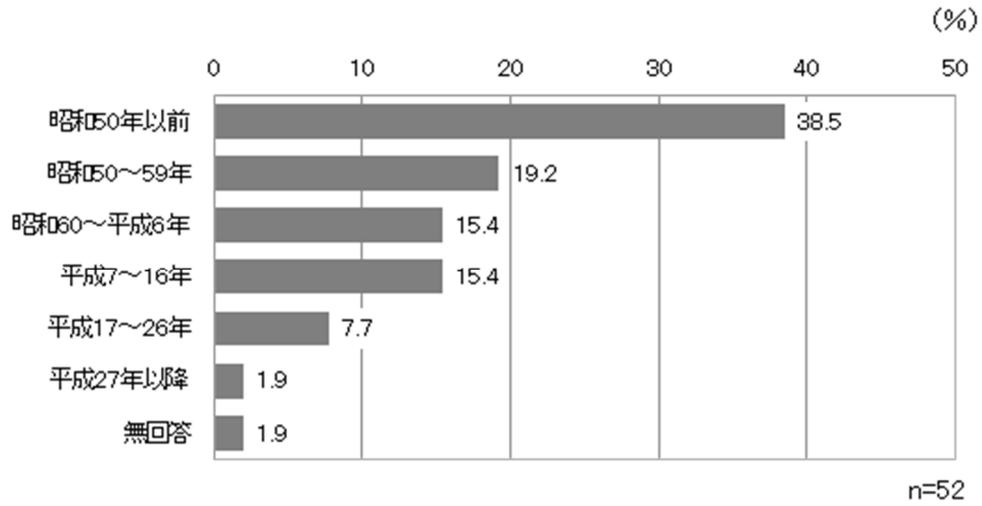
1 全従業者数（パート・アルバイト含む）（SA）



2 主な業種（SA）



3 町内での設立年次（SA）

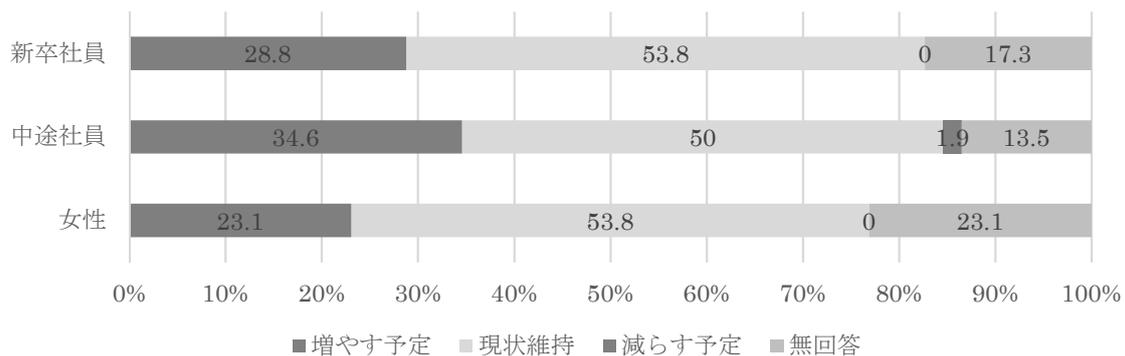


2. 雇用について

4 今後5年間の従業員の雇用人数について（SA）

①正社員・正職員

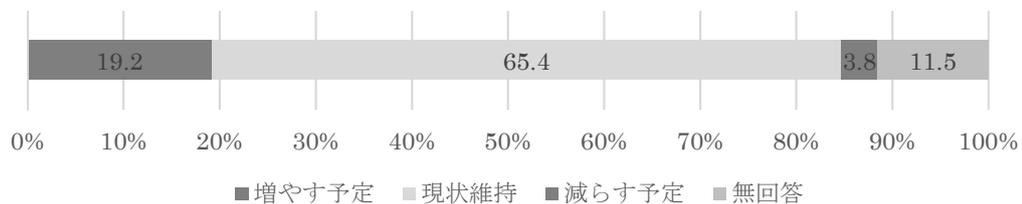
- ・「正社員・正職員」については、「現状維持」が最も多く、次いで「増やす予定」が多くなっています。
- ・「増やす予定」について、「新卒社員」「中途社員」「女性」の区分で見ると、「中途社員」の34.6%が最も多く、次いで「新卒社員」の28.8%、「女性」の23.1%となっています。



n=52

②パート・アルバイト

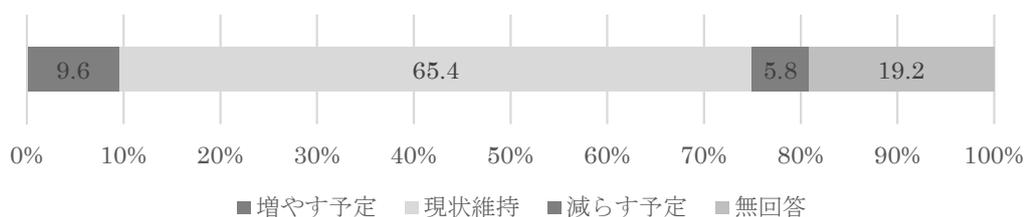
- ・「現状維持」の65.4%が最も多く、次いで「増やす予定」が19.2%となっています。



n=52

③派遣・嘱託・契約社員

- ・「現状維持」の65.4%が最も多く、次いで「増やす予定」が9.6%となっています。

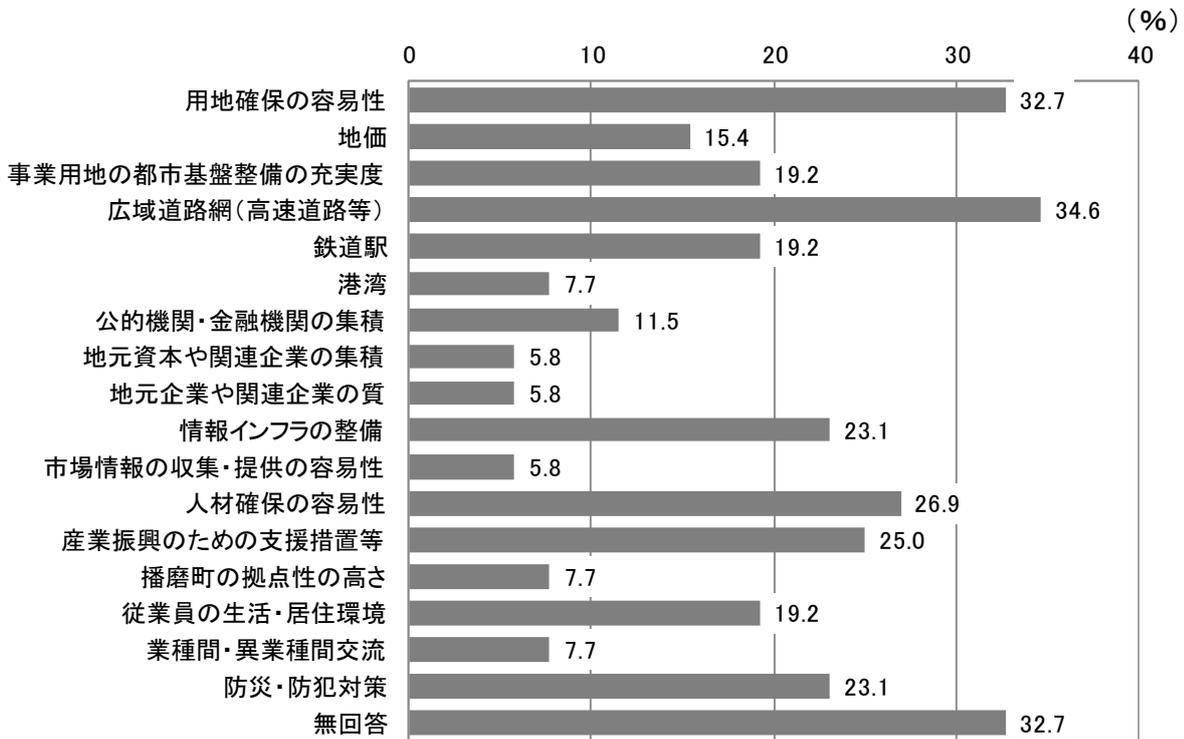


n=52

3. 播磨町の事業環境、都市機能整備の評価について

5 現在の播磨町における事業環境の評価（MA）

- ・「広域道路網(高速道路等)」が 34.6%で最も割合が高く、次いで「用地確保の容易性」が 32.7%、「人材確保の容易性」が 26.9%となっています
- ・全従業員数別でみると、「現在の場所からの距離」については、“10 人未満”で回答した事業者の割合が高くなっています。



n=52

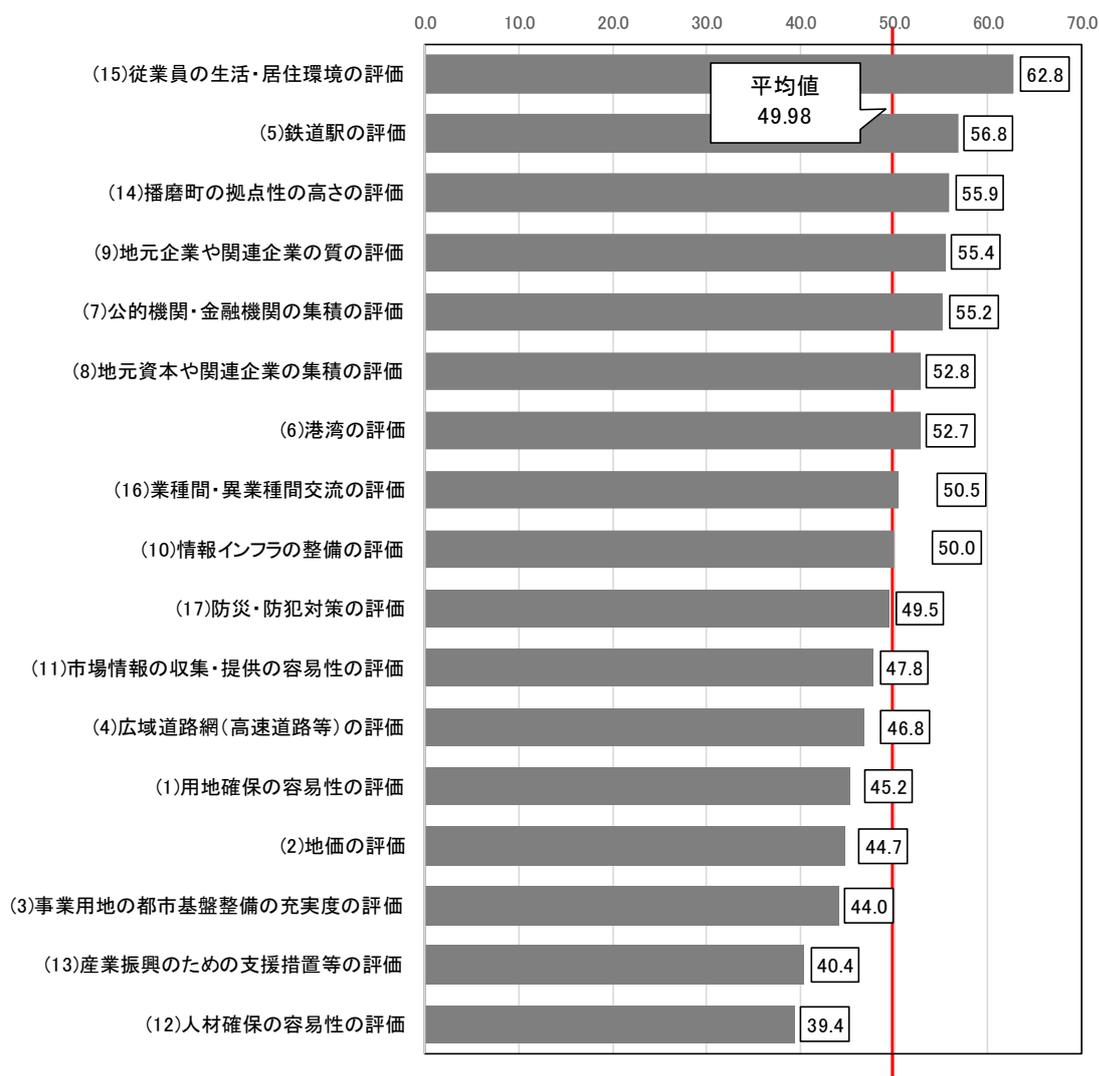
5-1 満足度の評価

- ・5で把握した、事業環境の満足度について集計結果を点数化し、より詳細な分析を行います。

<点数化の手法>

満足度	点数化	処 理
満足	100点	満足度の合計点数を対象サンプル数で除して平均値を算出 ※その際無回答は除外
どちらかといえば満足	75点	
普通、何ともいえない	50点	
どちらかといえば不満	25点	
不満	0点	
無回答	除外	

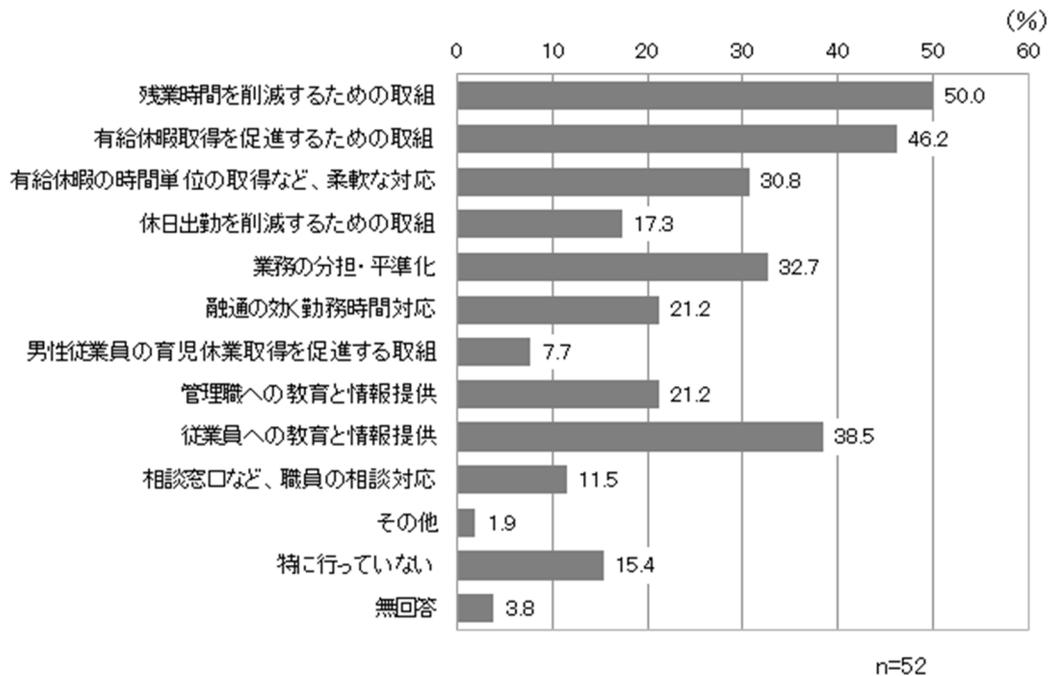
- ・分析の結果、「(15)従業員の生活・居住環境」についての満足度が最も高く、次いで「(5) 鉄道駅の評価」「(14) 播磨町の拠点性の高さ」となっています。



4. ワーク・ライフ・バランスについて

6 ワーク・ライフ・バランスのために行っている取組について（MA）

- ・「残業時間を削減するための取組」が50.0%で最も割合が高く、次いで「有給休暇取得を促進するための取組」46.2%、「従業員への教育と情報提供」が38.5%となっています。
- ・全従業者数別でみると、50人以上では「有給休暇取得を促進するための取組」が100.0%となっています。

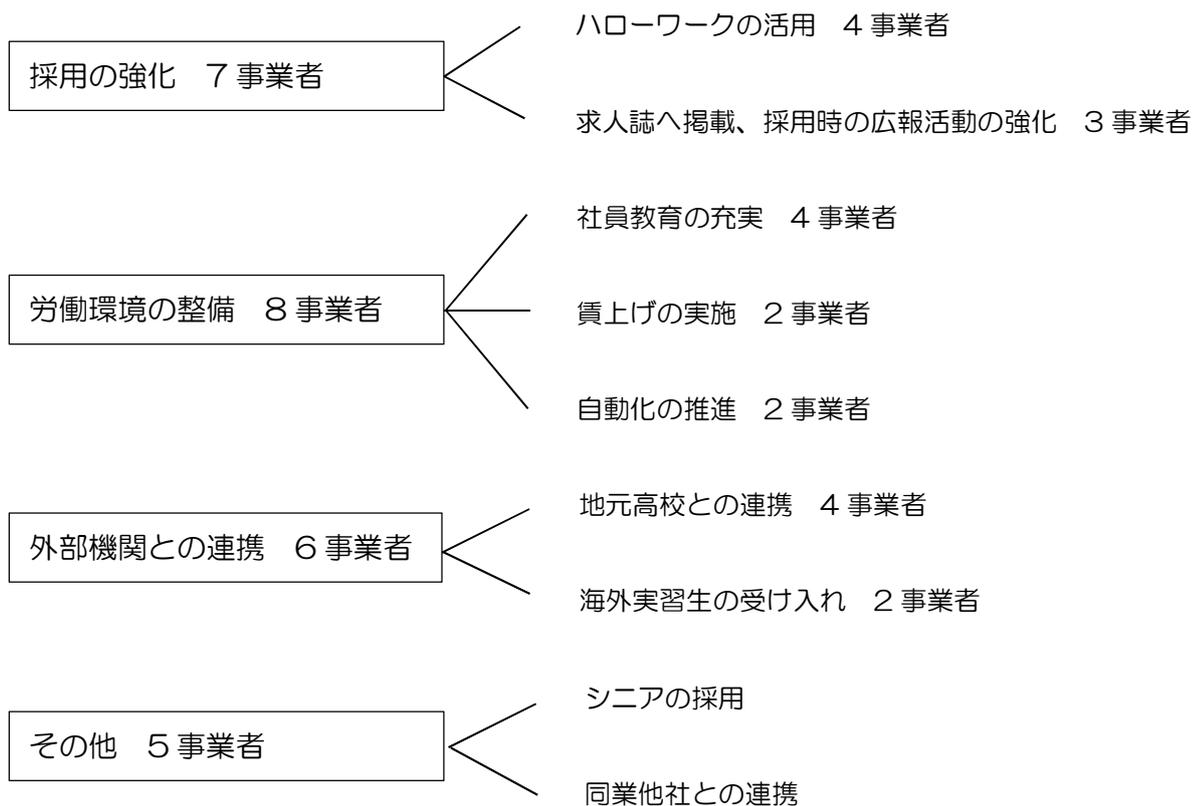


5. 人材確保について

7 今後、人口の減少が見込まれる中、人材確保についての取組について（F A）

・「人材確保について、どのような取組をされていますか」という問いに対し、22 事業者から人材確保や従業員の定着に関する取組等が挙げられました。おもな項目としては、次のとおりです。

【人材確保についての取組】



8 雇用促進や産業振興のために、行政が行うべき施策について（F A）

・「雇用促進や産業振興のために、行政が行うべき施策について、ご意見をお書きください」という問いに対し、22 事業者から意見が挙げられました。おもな項目としては、次のとおりです。
から

